CollaboUSB

ソフトウェア

取扱説明書

設定・ネットワーク編

日本アビオニクス株式会社

この「取扱説明書」は、大切に保管してください。また、紛失した場合は、保守サービス会社にお問い合わせください。

商標について

- Windows は米国 Microsoft 社の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

その他

【 免責事項について 】

- 火災や地震、第三者による事故、お客様の故意または過失、誤用その他　異常な条件下での使用により生じた損害につきましては、当社ではいかなる責任も負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品の使用や使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、データの変化や消失）につきましては、当社はいかなる責任も負いかねます。
- 他の接続機器または当社以外のソフトウェアを含む製品との組み合わせによる誤動作等から生じた損害につきましては、当社はいかなる責任も負いかねます。
- 各取扱説明書で説明している以外の使用方法により生じた損害につきましては、当社はいかなる責任も負いかねます。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 乱丁・落丁はお取り替えいたします。

―― 目 次 ――

使用上のご注意 1
１．はじめに 2
２．目的に応じた使い方 3
　２．１ ネットワークの接続の設定を行いたい。 3
３．ネットワークの設定を行う前に 4
　３．１ ＡＤＳＬ接続を行う場合 4
　３．２ ＩＳＤＮ、ＰＨＳ接続を行う場合 4
　３．３ ＬＡＮ接続を行う場合 4
４．機器の初期設定 5
　４．１ お客様がご使用になられる PC の初期設定 5
　　４．１．１ コントロールパネル表示についての注意 5
　　４．１．２ ユーザーの追加と確認 6
　　４．１．３ ユーザーのパスワード設定 8
　　４．１．４ 着信設定 10
　　４．１．５ NetMeeting の初期設定 14
　４．２ CollaboUSB の初期設定 16
　　４．２．１ 初期設定 16
　　４．２．２ ADSL を使用する場合の接続設定 18
　　４．２．３ ＬＡＮを使用する場合の接続設定 29
　　４．２．４ ISDN、PHS、FOMA などのダイアルアップを使用する場合の接続設定 31
　　４．２．５ 特殊な場合の接続設定 34
５．保証と修理サービス 37
　５．１ 保証について 37
　５．２ 保証期間について 37
　５．３ 修理サービスについて 37

使用上のご注意　～必ずお読みください～

注意

CollaboUSBを装着されるPCには、本書でご説明いたしますソフトウェアやドライバ以外のソフトウェアは、極力使用しないようにしてください。他のソフトウェアを同時に使用しますと競合等が起こり誤動作する場合があります。また、CollaboUSBのリムーバブル領域のファイルはアプリケーションの起動に必要なものであり、これらのファイルを削除または移動したりしないように注意してください。

その他に関する注意事項はお客様のご使用になるコンピュータの取扱説明書をご参照ください。

１．はじめに

本マニュアルは CollaboUSB をご使用になる上で、構成に応じた周辺装置を使用するために必要な設定、お客様のネットワーク構成に応じた必要な設定の手順を記載しております。
CollaboUSB を初めてご使用する場合や、周辺機器の構成変更、接続先の変更を行う場合には、第２章を参照し設定に必要な項目を御確認の上、本マニュアルの手順に従い設定を行って下さい。

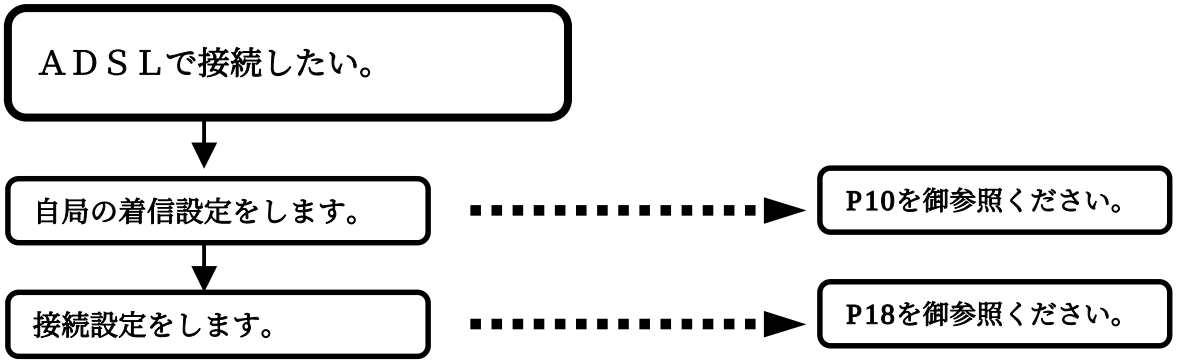
本文にて”CollaboUSB”と言う場合、USB メモリ本体を示す場合と、USB メモリに格納され自動的に起動するアプリケーションプログラムを示す場合もあります。ソフトウェアの機能について説明している場合、アプリケーションプログラムを意味しますので、あらかじめご了承ください。

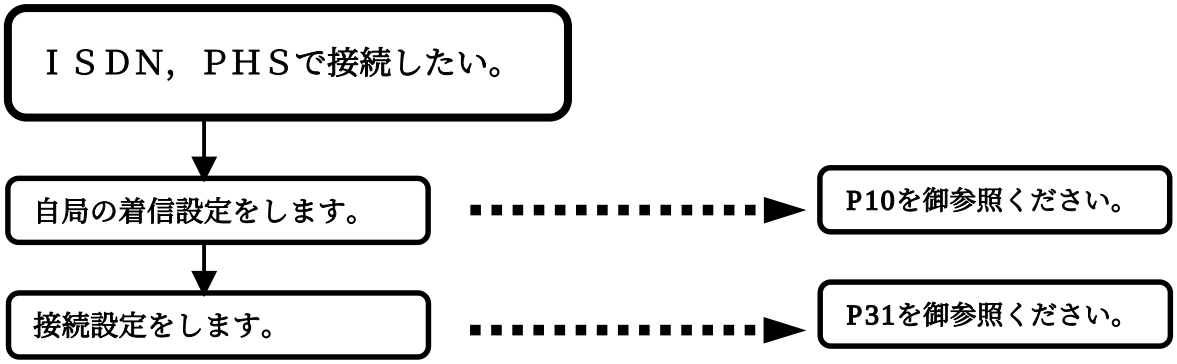
※お客様がご使用になられる PC の設定については、管理者の権限のあるユーザにてお願いします。本取扱説明書でご説明している設定は、管理者以外の“制限ユーザ”では実行できない場合がありますのでご注意ください。

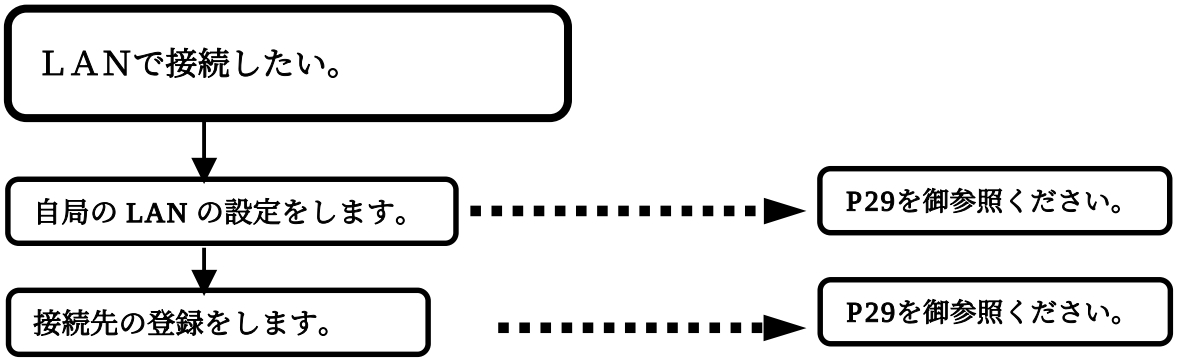
２．目的に応じた使い方

CollaboUSB のご使用に当たり、設定の目的に応じて下記のページをご参照ください。

２．１ ネットワークの接続の設定を行いたい。



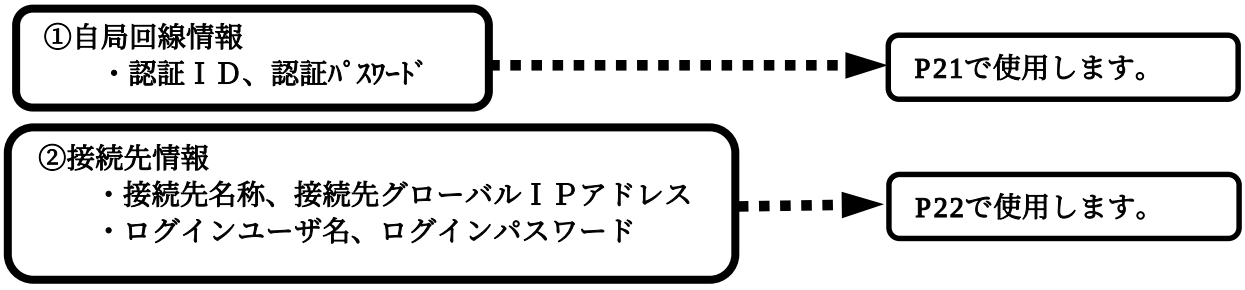




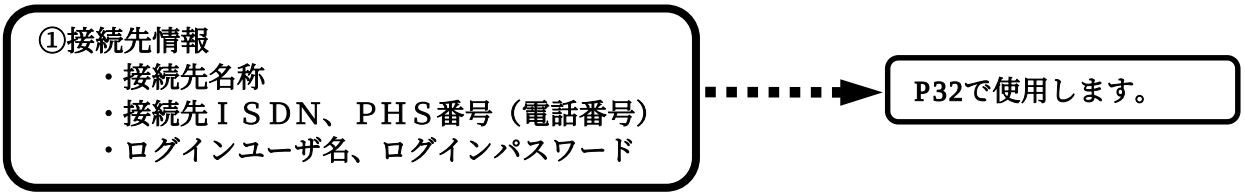
３．ネットワークの設定を行う前に

ネットワーク関連の設定を行う前に、各接続について準備する必要がある設定情報について記載してあります。設定を行う前に、以下の必要な設定情報を準備してください。

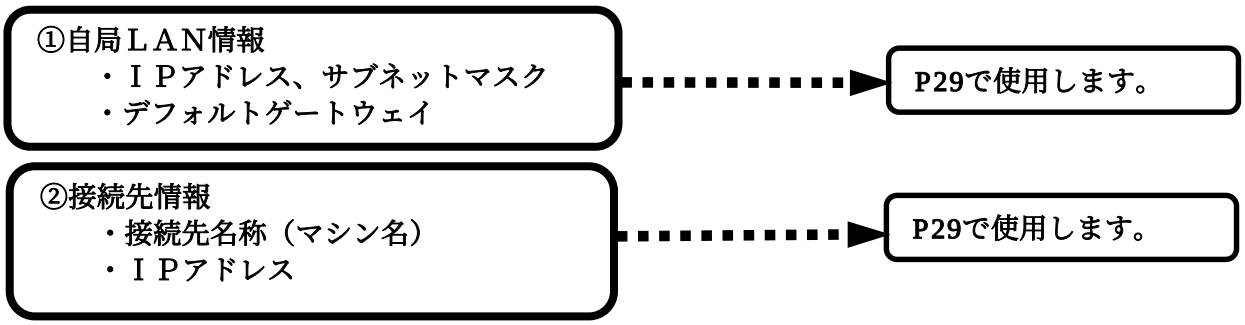
３．１ ＡＤＳＬ接続を行う場合



３．２ ＩＳＤＮ、ＰＨＳ接続を行う場合



３．３ ＬＡＮ接続を行う場合



４．機器の初期設定

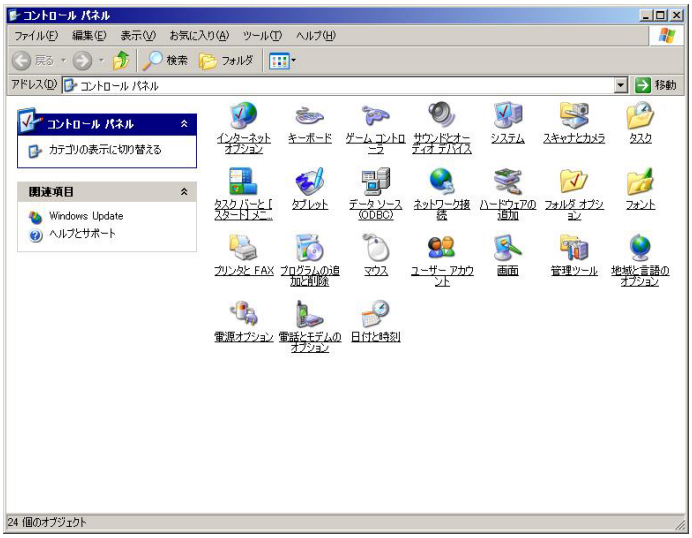
４．１ お客様がご使用になられる PC の初期設定

※ 本取扱説明書では WindowsXP をご使用の場合を例として説明しています。Windows2000 をご利用のお客様は、お使いの OS についての説明書をご覧になり、同様の設定をしてください。

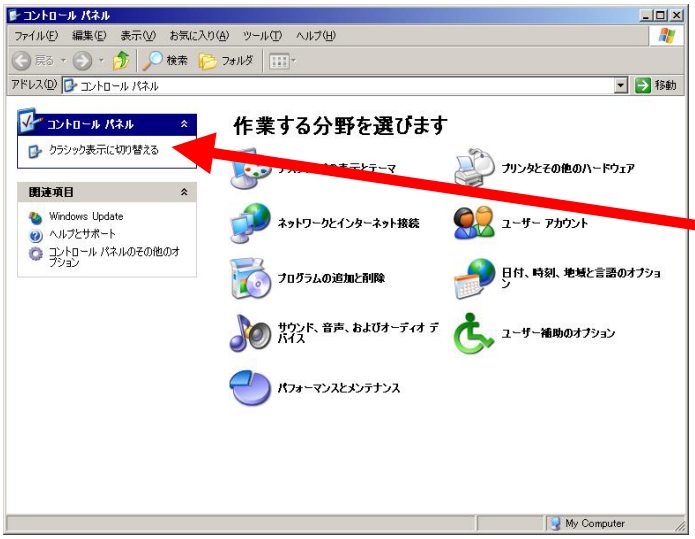
４．１．１ コントロールパネル表示についての注意

ご使用になられるコンピュータの OS が WindowsXP の場合、コントロールパネルの表示には、下記に示す２通りの画面表示形式があります。本書では、次項を除き下記「クラシック表示」にて説明を行っています。お客様が「カテゴリ表示」をお使いの場合は、「クラシック表示」に切り換えて操作をしてください。（Windows2000 をお使いの場合は、読み飛ばしてください。）

＜クラシック表示＞



＜カテゴリ表示＞

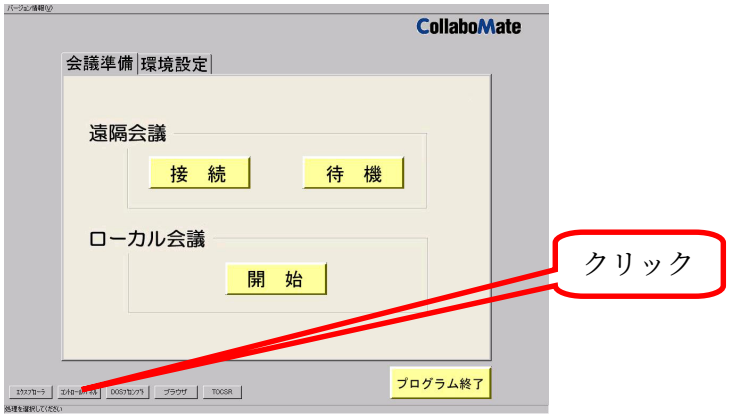


クラシック表示に切り換えるには、ここをクリックします。

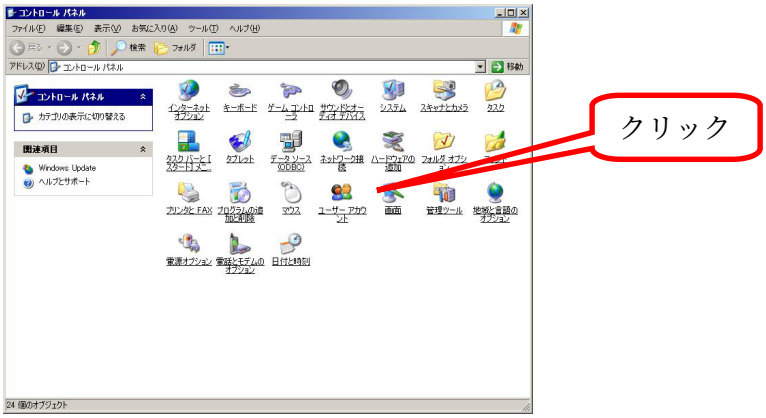
４．１．２ ユーザーの追加と確認

※ 既にご使用の PC にてユーザの追加がされている場合、本項は読み飛ばしてください。
※ 本設定は管理者ユーザにて行ってください。

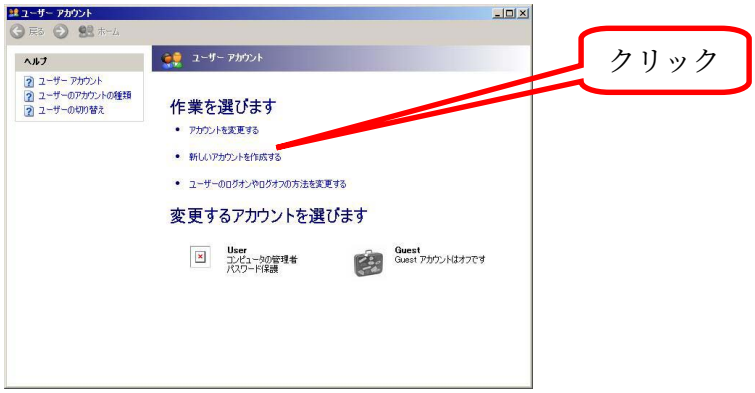
①CollaboUSB の「コントロールパネル」をクリックします。
※CollaboUSB が起動していない場合、デスクトップ上でタスクバーの「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」を選択しても構いません。（以下同様です。）



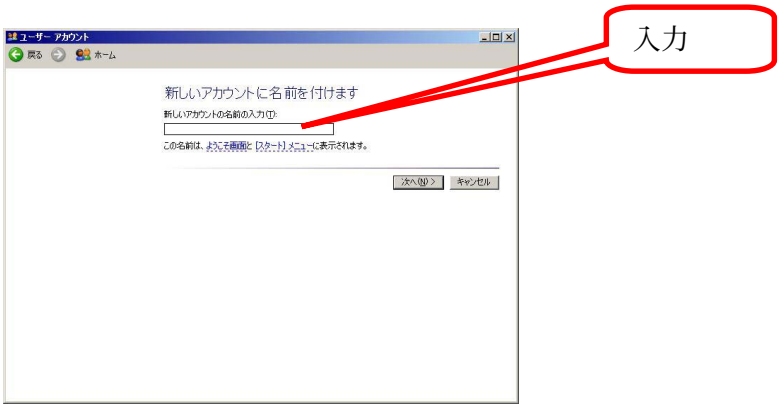
②「コントロールパネル」の「ユーザーアカウント」をクリックします。



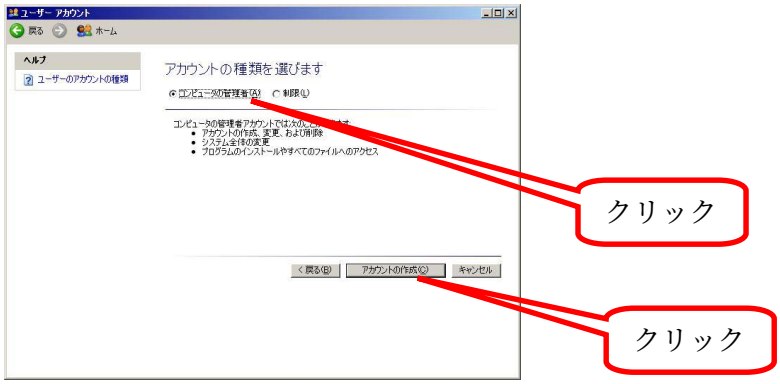
③「新しいアカウントを作成する」をクリックします。



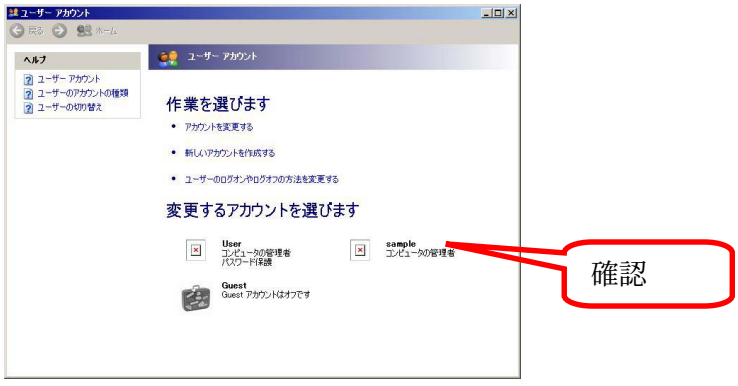
④新しいアカウントの名前を入力します。



⑤新しく作成するアカウントの種類を選択します。「コンピュータの管理者」をクリックし、アカウントの作成をクリックします。



⑥作成したアカウントが、「変更するアカウントを選びます」以下のユーザーアイコンに追加されているのを確認します。



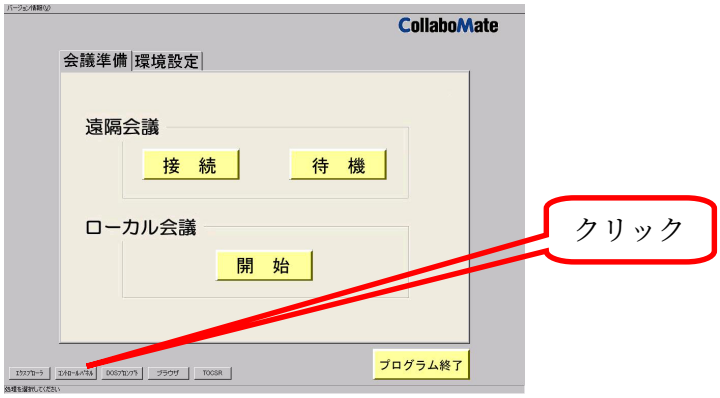
⑦「ユーザーアカウント」画面を閉じます。

⑧「コントロールパネル」に戻るので画面右上の「×」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」画面を閉じます。

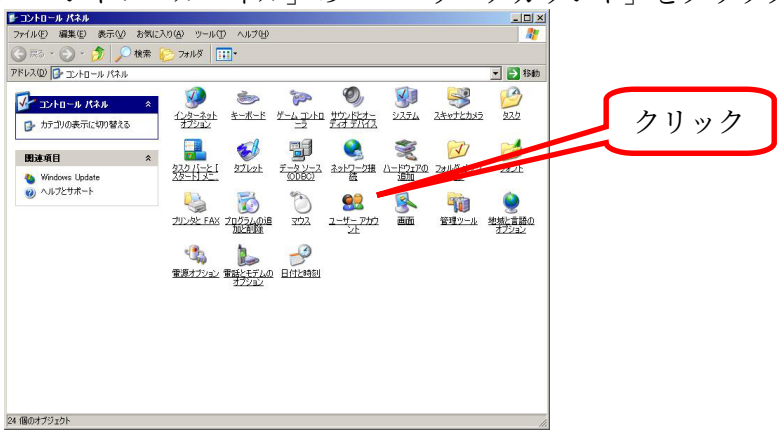
４．１．３ ユーザーのパスワード設定

※ **パスワードを設定しないと VPN 接続,PHS 等でのリモート接続が確立できませんので、必ず設定を行ってください。**
※ **本設定は管理者ユーザにて行ってください。**

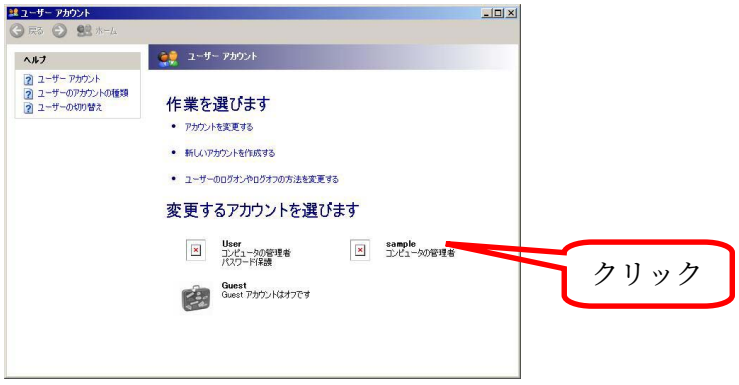
①CollaboUSB の「コントロールパネル」をクリックします。



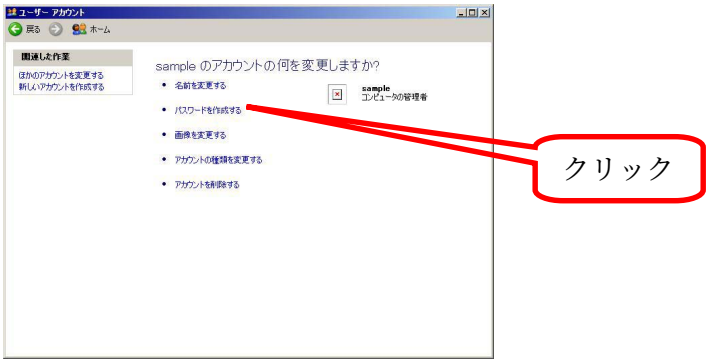
②「コントロールパネル」の「ユーザーアカウント」をクリックします。



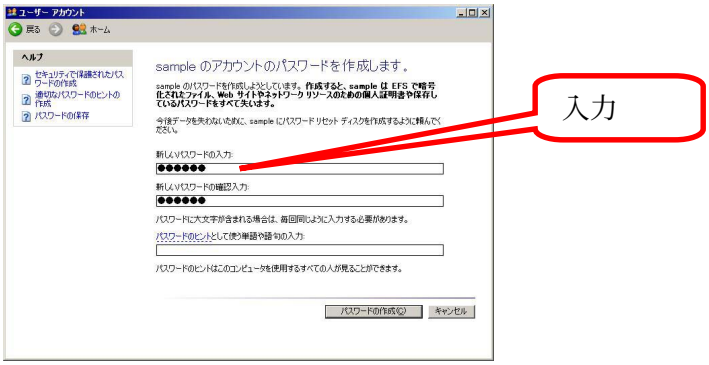
③パスワードを設定するユーザーをクリックします。



④「パスワードを作成する」をクリックします。



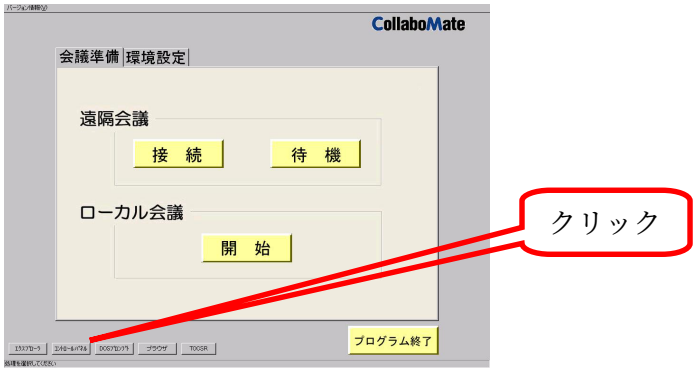
⑤パスワードを入力します。パスワードは安全なもの（他人に分かりにくいもの）を設定してください。入力後は「パスワードの作成」をクリックします。



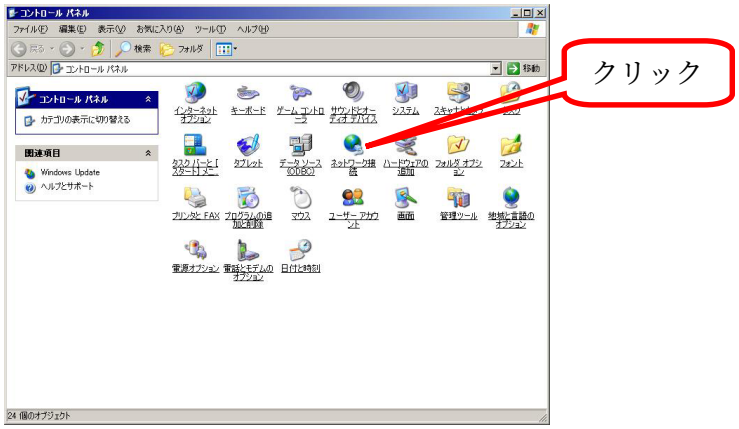
４．１．４ 着信設定

※ 本項では、PC 標準の VPN 接続にて遠隔会議を行う場合に必要になります。VPN ルータを PC とは別途ご利用になられる場合や、LAN 接続の場合、本項は読み飛ばしてください。
※ 本設定は管理者ユーザにて行ってください。

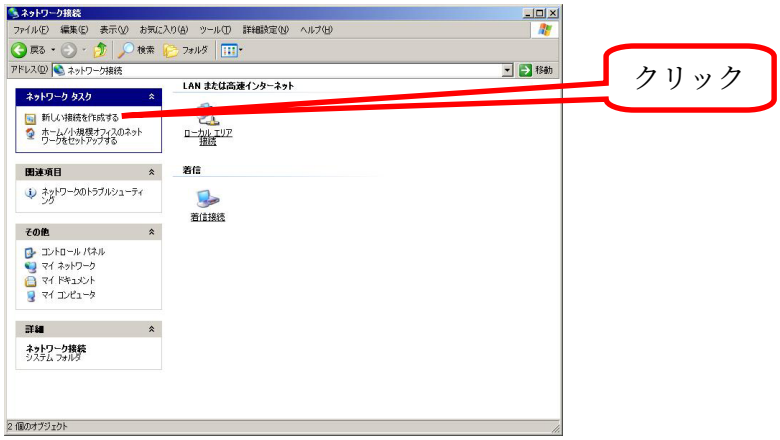
①CollaboUSB の「コントロールパネル」をクリックします。



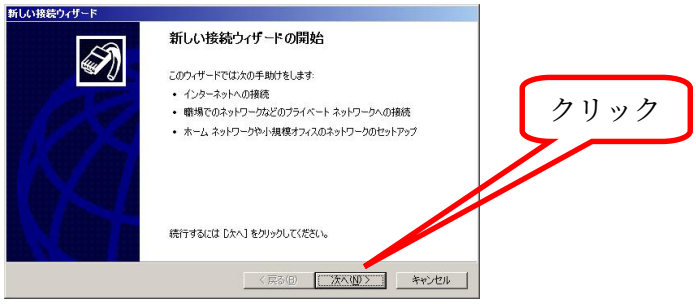
②「コントロールパネル」の「ネットワーク接続」をクリックします。



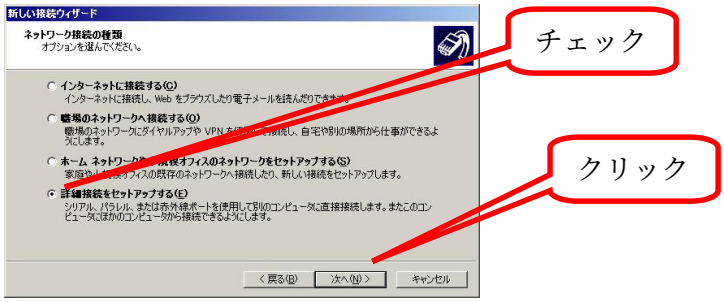
③「新しい接続を作成する」をクリックします。



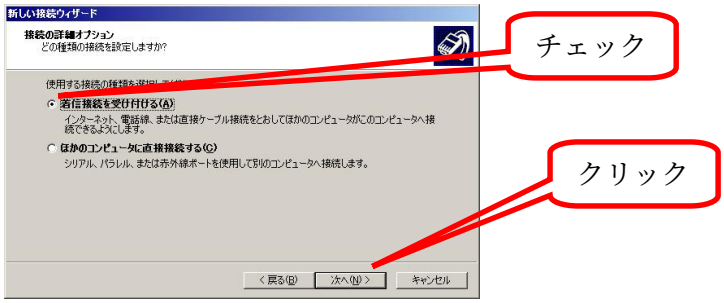
④「次へ」をクリックします。



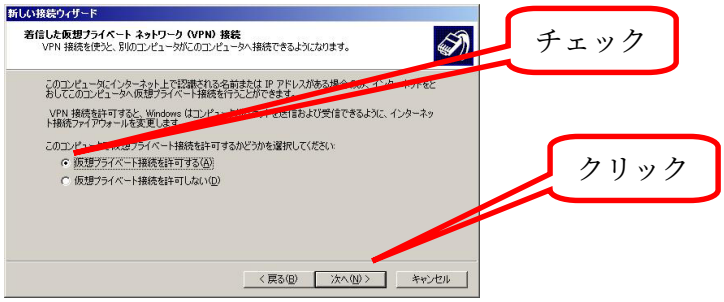
⑤「詳細接続をセットアップする」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。



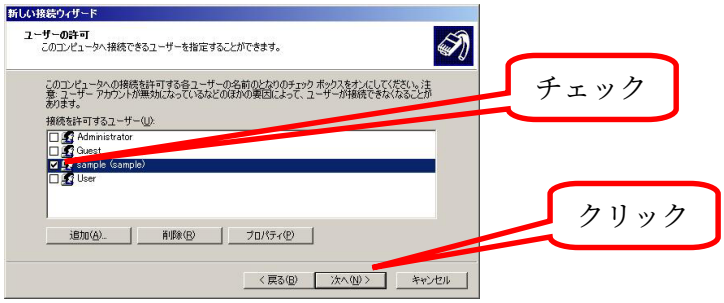
⑥「着信接続を受け付ける」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。



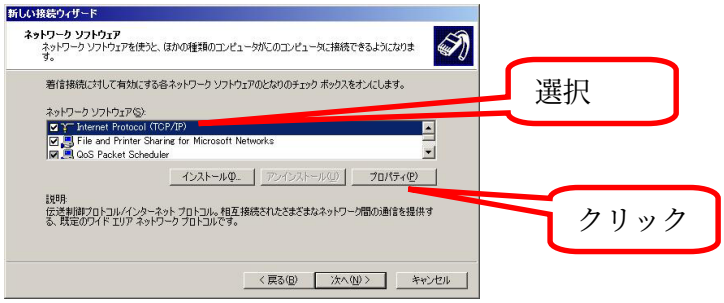
⑦「仮想プライベート接続を許可する」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。



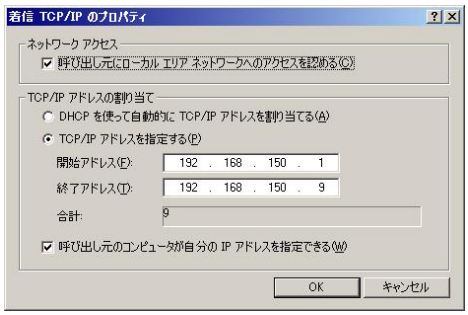
⑧前項で作成したユーザにチェックを入れ「次へ」をクリックします。



⑨「インターネットプロトコル（または、Internet Protocol）」を選択し「プロパティ」をクリックします。


新しい接続ウィザード
ネットワーク ソフトウェア
ネットワーク ソフトウェアを使うと、ほかの種類のコンピュータがこのコンピュータに接続できるようになります。
着信接続に対して有効にする各ネットワーク ソフトウェアのとなりのチェック ボックスをオンにします。
ネットワーク ソフトウェア(S):
Internet Protocol (TCP/IP)
File and Printer Sharing for Microsoft Networks
QoS Packet Scheduler
インストール(I)...
アンインストール(U)
プロパティ(R)
説明:
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコルです。
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
選択
クリック

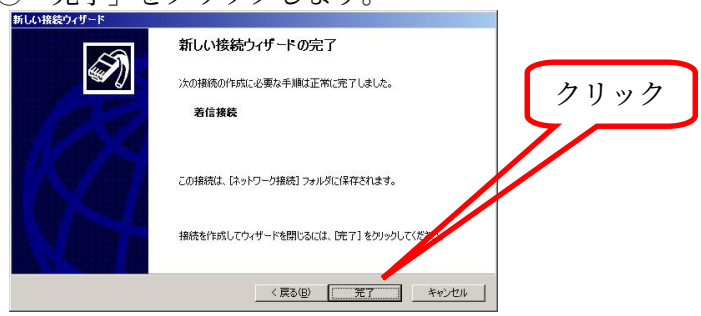
⑩以下の通り設定し「OK」をクリックします。



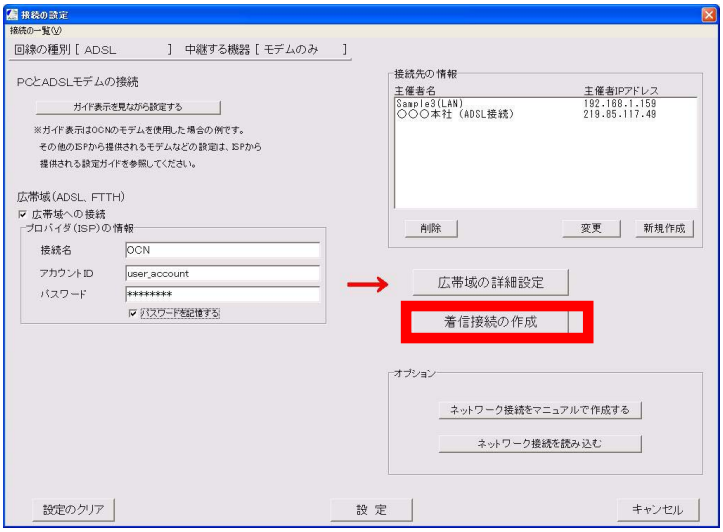
・開始アドレス：192.168.150.1
・終了アドレス：192.168.150.2

⑪前の画面に戻ったら「次へ」をクリックします。

⑫「完了」をクリックします。



※ 上記の着信設定の操作は、プログラムの“ 環境設定 ”->“ 接続の設定 ”から、各設定の画面を表示すると 「着信接続の作成」ボタンが画面内にありますので、このボタンをクリックし、ガイドを表示させながら設定を行うと便利です。

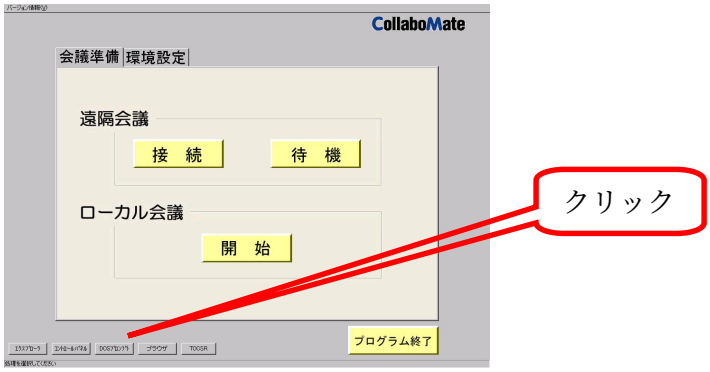


４．１．５ NetMeeting の初期設定

以下の手順で NetMeeting を設定します。

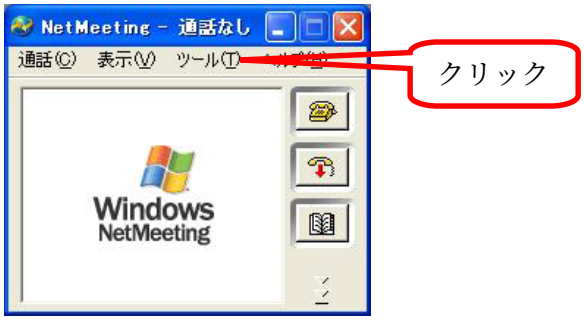
※USB カメラを接続したままの状態で本項の設定を行ってください。

①CollaboUSB の「DOS プロンプト」をクリックします。

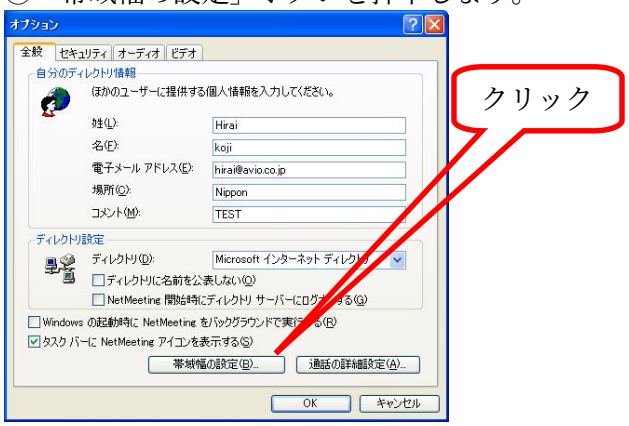


②「”C:¥Program Files¥NetMeeting¥conf.exe”」と入力し、Enter を押下します。「” 」（ダブルクォーテーション）を忘れずに入力してください。

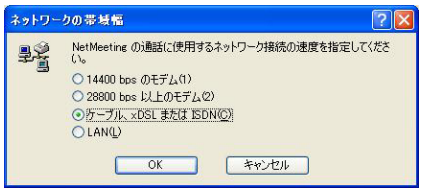
③「ツール」→「オプション」を順にクリックします。



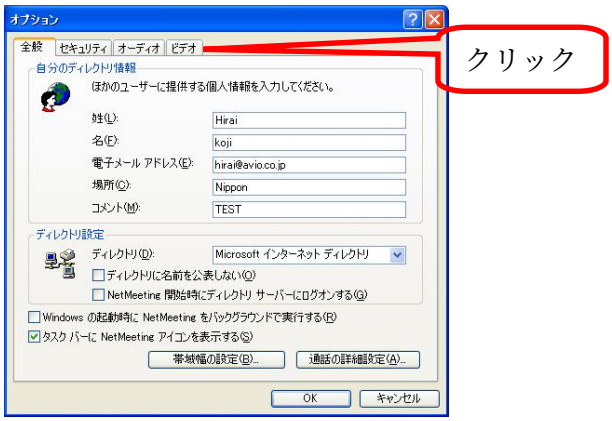
④「帯域幅の設定」ボタンを押下します。



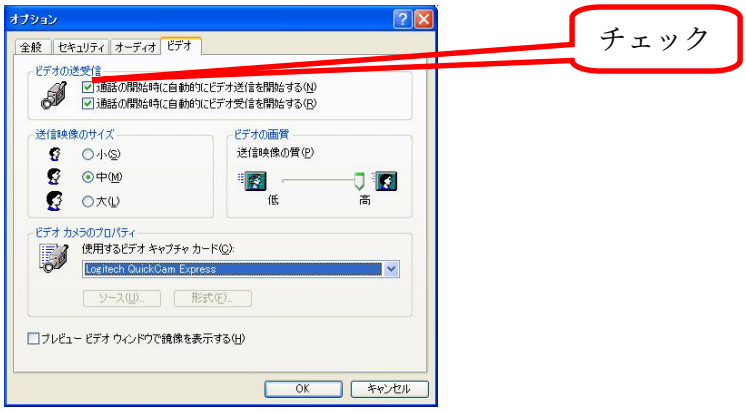
⑤準備されている回線の帯域に従い,帯域幅の設定を行い「OK」をクリックします。



⑥「ビデオ」タブをクリックします。



⑦「通話の開始時に自動的にビデオ送信を開始する」チェックボックスが選択可となっていますので、チェックし「OK」ボタンをクリックします。

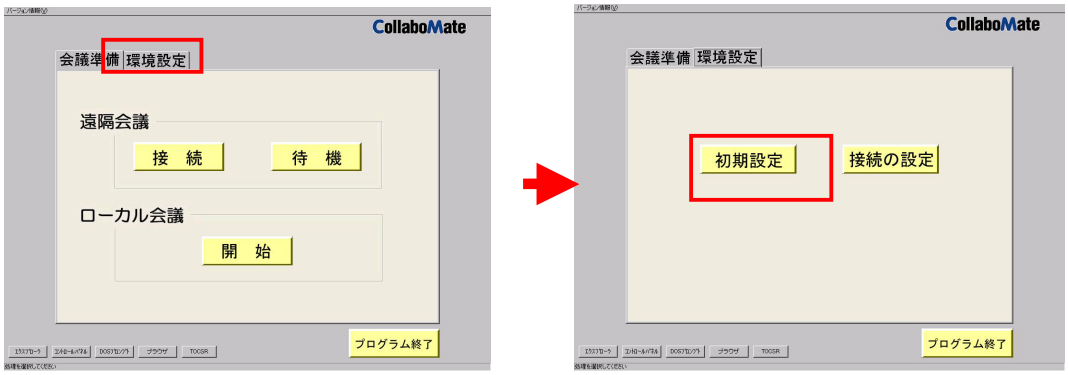


４．２ CollaboUSB の初期設定

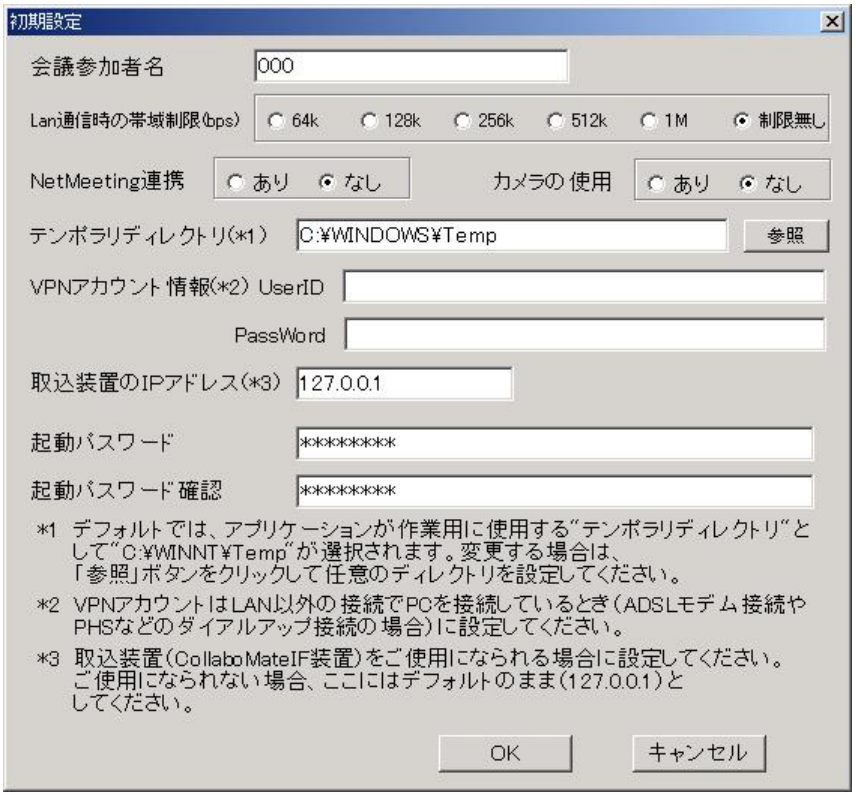
４．２．１ 初期設定

CollaboUSBAP を最初にご使用になる場合、”初期設定”として以下の設定をしてください。

(1)CollaboUSB を起動します。
(2)メイン画面の「環境設定」タブを選択し、「初期設定」ボタンをクリックします。



(3)下記の画面が表示されますのでご使用になる環境に応じて設定を入力します。



① 会議参加者名　　：半角文字であれば 22 文字まで、全角文字（日本語）であれば 11 文字までの会議における PC の識別名を設定することができます。
② Lan 通信時の帯域制限　：　「制限無し」　LAN 環境でのご使用時は別途、弊社営業拠点にご相談ください。
③ NetMeeting 連携　　：　デフォルトで「なし」になっています。
ＵＳＢカメラ未使用時は「なし」設定としてください）
④ カメラの使用　　：　デフォルトで「なし」になっています。
（デジタル PC カメラ未使用時は「なし」設定としてください）

⑤ テンポラリディレクトリ：　アプリケーションが動作中に使用する一時ファイルの場所（フォルダ）を指定します。デフォルトでは、windows システムフォルダ内の”Temp”が選択されます。これを変更される場合、できるだけ空き容量の大きなドライブ配下のフォルダを選択してください。

⑥ VPN アカウント情報　：’VPN アカウント情報’で設定する UserID と PassWord は他者から自身に VPN 接続する際必要になるアカウント情報です。自身の’着信接続’の設定時に入力したアカウント情報と一致するよう入力してください。（LAN の接続環境では設定不要です）

⑦ 取込装置の IP アドレス　：オプションの CollaboMateIF 装置をご使用になる場合、その IP アドレス（デフォルトでは使用しない場合の IP：127.0.0.1 です）を設定してください。ご使用になられない場合は、デフォルトのまま（127.0.0.1）としてください。

⑧ 起動パスワード　：第三者に容易に使用されないよう、自身の PC に設定するパスワードを入力してください。（英数字で 6 文字以上 32 文字以内）

⑨ 起動端ワード確認：上記のパスワードを確認用にもう一度入力してください。

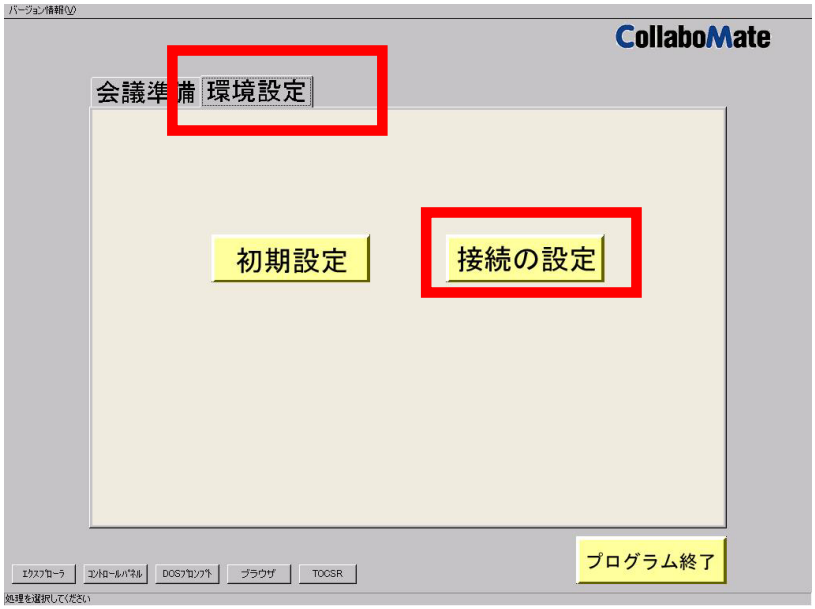
（1） 設定完了後、「OK」ボタンをクリックします。

※　NetMeeting を使用して 1:1 のビデオ通信が可能ですが、会議を最初に起動したマスター（主催者）の拠点とこれ以外の拠点（参加者）同士での通信に限られます。ＬＡＮ（直接）の接続を除き、マスター以外の拠点（参加者）間での通信には使用できません。

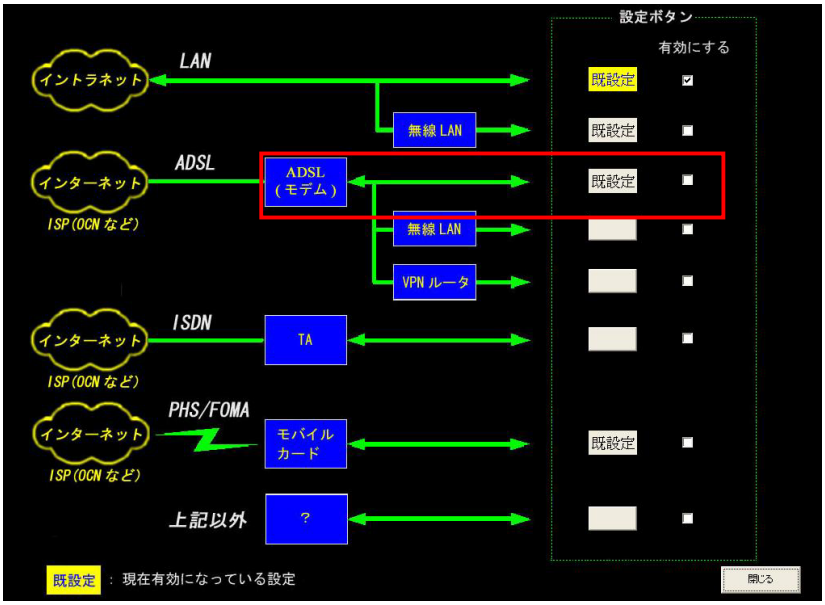
４．２．２ ADSL を使用する場合の接続設定

※ ADSL 回線が使用可能な状態である場合は、コンピュータの LAN コネクタと ADSL モデムを LAN ケーブルで接続してください。
※ 本設定は管理者ユーザにて行ってください。
※ ADSL モデムを利用したインターネット接続もしくは ISDN/PHS などのダイアルアップ接続でご利用の場合、CollaboUSB を「待機」側で使用すると、１：１の遠隔会議のみに制限されます。１：２もしくは１：３の遠隔会議を行う場合、必ず「待機」側に CollaboUSB 以外の CollaboMate 製品をご利用ください。（LAN 接続あるいは VPN ルータを利用する LAN 接続の場合は CollaboUSB のみで１：３接続が可能です。ただし、LAN 接続で接続先の設定時、”□LAN 接続で VPN を使用する”にチェックを入れた場合は１：１の会議に制限されますのでご注意ください。）

① メイン画面の「環境設定」タブを選択し、「接続の設定」ボタンをクリックします。

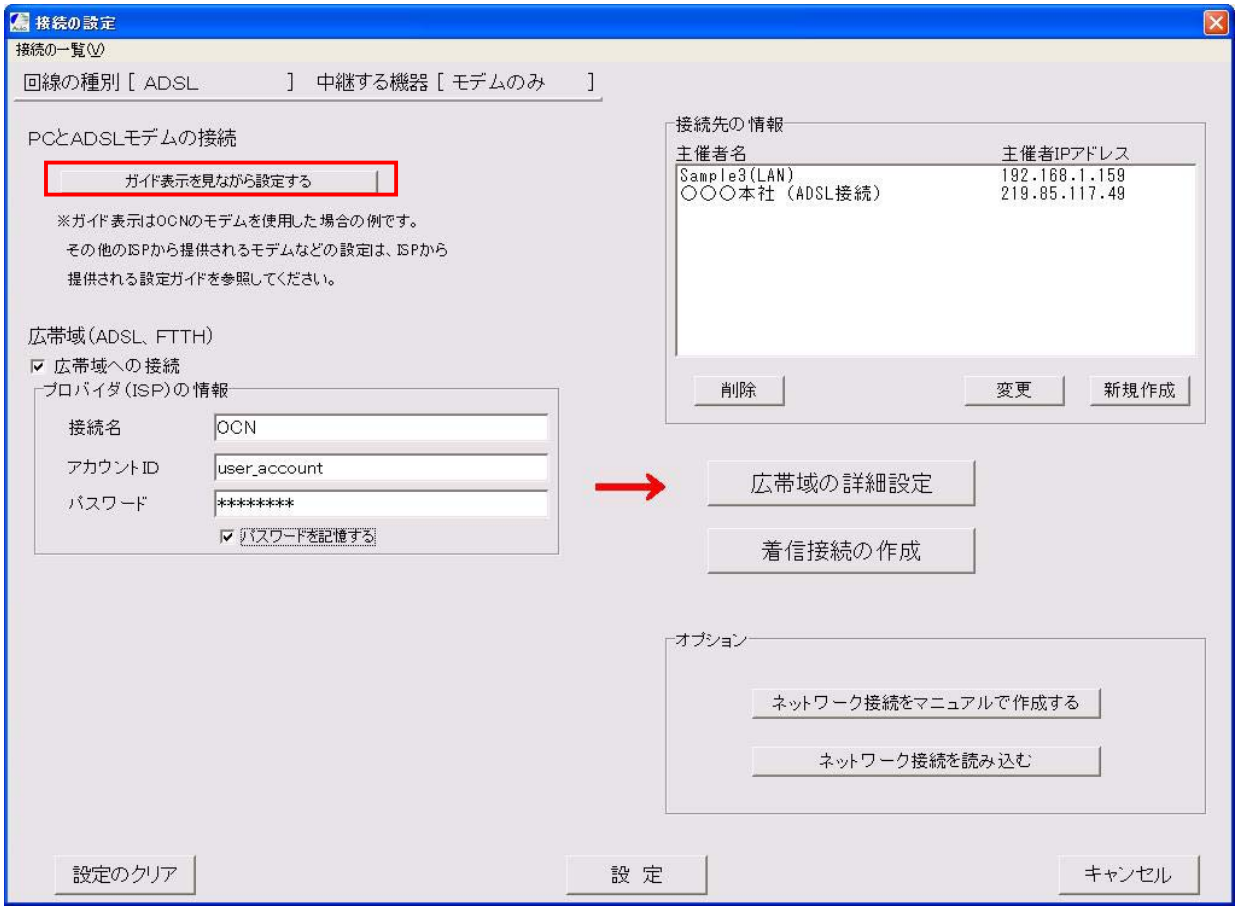


② ADSL（モデム）の右側 3 種がありますが、コンピュータ とモデムの間に中継する機器がない場合、一番上の ADSL（モデム）に直接接続されている場合の設定ボタンをクリックします

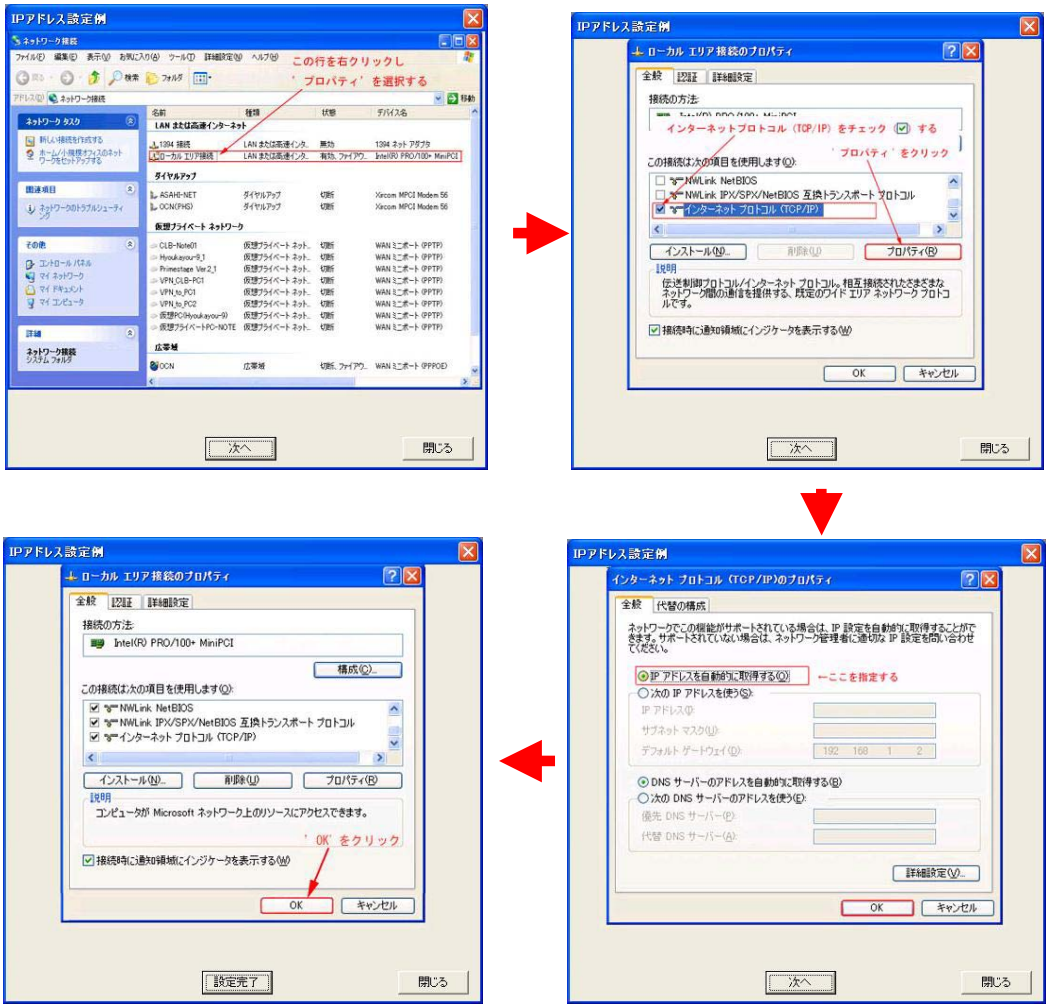


③ ADSL でインターネットに接続するために、ADSL モデムと PC を設定する必要がありますので、画面の「ガイド表示を見ながら設定する」のボタンをクリックし、ガイド画面を表示させた状態で PC の設定（ローカルエリア接続）を行います。ガイド画面は OCN を ISP（ADSL 接続は NTT 東日本）と想定した場合の流れを示しています。これ以外の ADSL モデムをご利用の場合、ADSL 接続についての設定はそれぞれの設定ガイドに従って操作をお願いいたします。

※以下の設定方法は WindowsXP をご使用の場合の説明です。Windows2000 をお使いの場合、プロバイダとの接続に必要な PPPoE の接続ツールが OS には組み込まれておりませんので、ご契約のプロバイダから提供される接続ツールを使用して ISP と接続してください。アプリケーション上の設定は"待機"側の"着信接続の作成"のみ行い、"広帯域への接続"にはチェックを入れないようにしてください。「接続先の情報」では主催者（待機側）の固定グローバル IP アドレスを指定してください。また、Windows2000 の場合は、ADSL 接続時のファイアーウォール設定・・・ICF（Internet Connection Firewall）も標準では設定できませんのでご注意ください。ADSL による通信をご利用の場合は、WindowsXP を使用されることを強く推奨します。あるいは、VPN ルータの導入を検討されることを推奨いたします。（VPN ルータをご使用になり ADSL 回線で ISP 接続される場合は、CollaboUSB の設定としては"LAN 接続"の設定となります。この場合の IP アドレスは VPN のプライベートアドレスをご使用ください。）

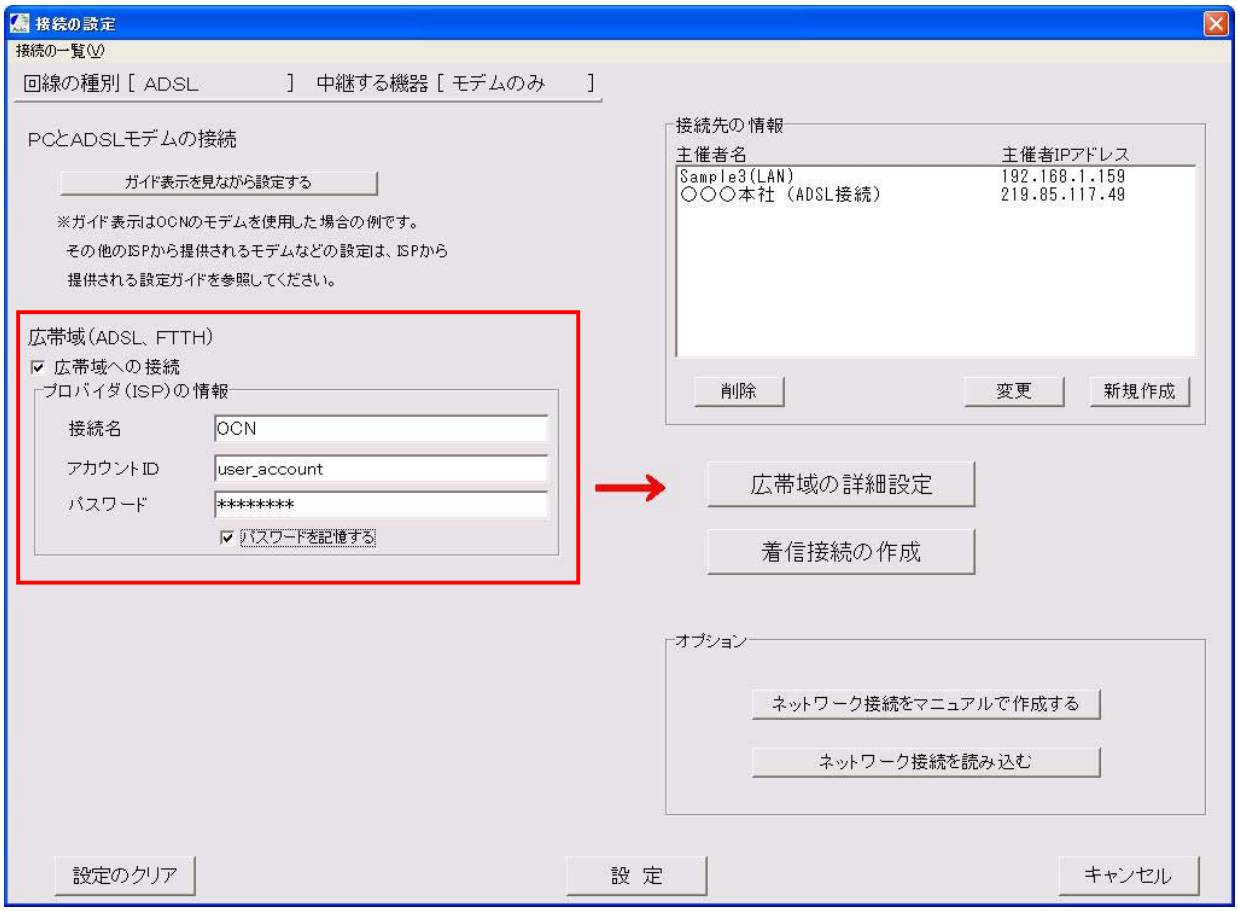


④ ガイド画面は以下の順番で表示されます。これに従って実際の“ネットワーク接続“を設定してください。ガイド画面の最後に「設定終了」のボタンが表示されますが、このボタンをクリックすると、先の”接続の設定“画面に戻り、「ガイド表示を見ながら設定する」のボタン右側に”（設定済み）“と表示されます。この表示は単にガイド表示を見ましたということを示すのみですので、実際に設定できたか否かを示すものではありませんので、参考程度にとどめていただきますようお願いいたします。



⑤ 次に「広帯域（ADSL、FTTH）」に ISP 接続に必要な情報を入力します。
・□広帯域への接続　をクリックしてチェック（レ）を入れます。
・分かり易い名称で「接続名」に文字を入力してください。
・ アカウント名、パスワードはご契約した ISP から入手したご契約書などをご参照の上入力してください。入力したパスワードを機器に記録し、接続のたびに入力しないようにするためには、□パスワードを記憶する　にチェックを入れてください。

※Windows2000 の場合、本設定は不要です。接続の度に別途 ISP などから提供される接続ツールを使用して ISP 間の接続を行ってください。

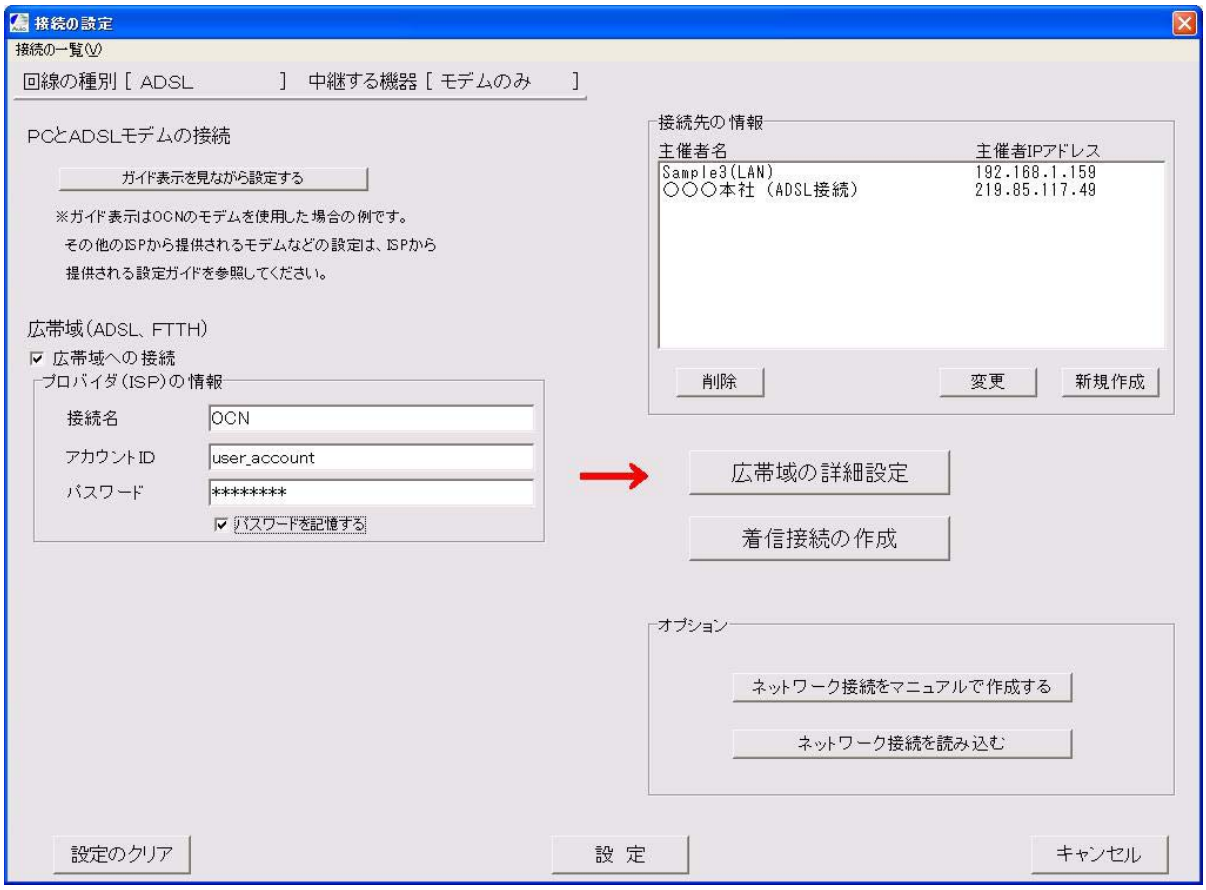


自身が”主催者”となって最初に「待機」する場合は、以上で設定を終わりますので、最後に「設定」ボタンをクリックし、機器に設定情報を記録します。自身が”参加者”になり会議に「接続」する必要がある場合には、接続先（=主催者）の情報を入力する必要がありますので、さらにこの情報を入力します。

※ “広帯域の接続”を作成した場合、セキュリティのため必ず「広帯域の詳細設定」をクリックし、ガイド画面に従って詳細情報の設定を行ってください。（設定する内容は、以降⑬からの操作と同じです。）

※ オプション　を使った設定方法
既に、”広帯域”の設定がされていて、その情報を使用したい場合は画面右下の”オプション”にある「ネットワーク接続を読み込む」ボタンをクリックしてください。画面上に既に設定済みの”広帯域”接続一覧が表示されますので、この中から任意の一つを選択します。ただし、”パスワード”の情報は読み取ることができない為、再度パスワードの入力をする必要がありますのでご注意ください。

⑥ “参加者”として会議に「接続」する場合、“接続先の情報”を少なくとも一つ設定する必要があります。画面右側の「新規作成」ボタンをクリックすると設定画面が表示されます。

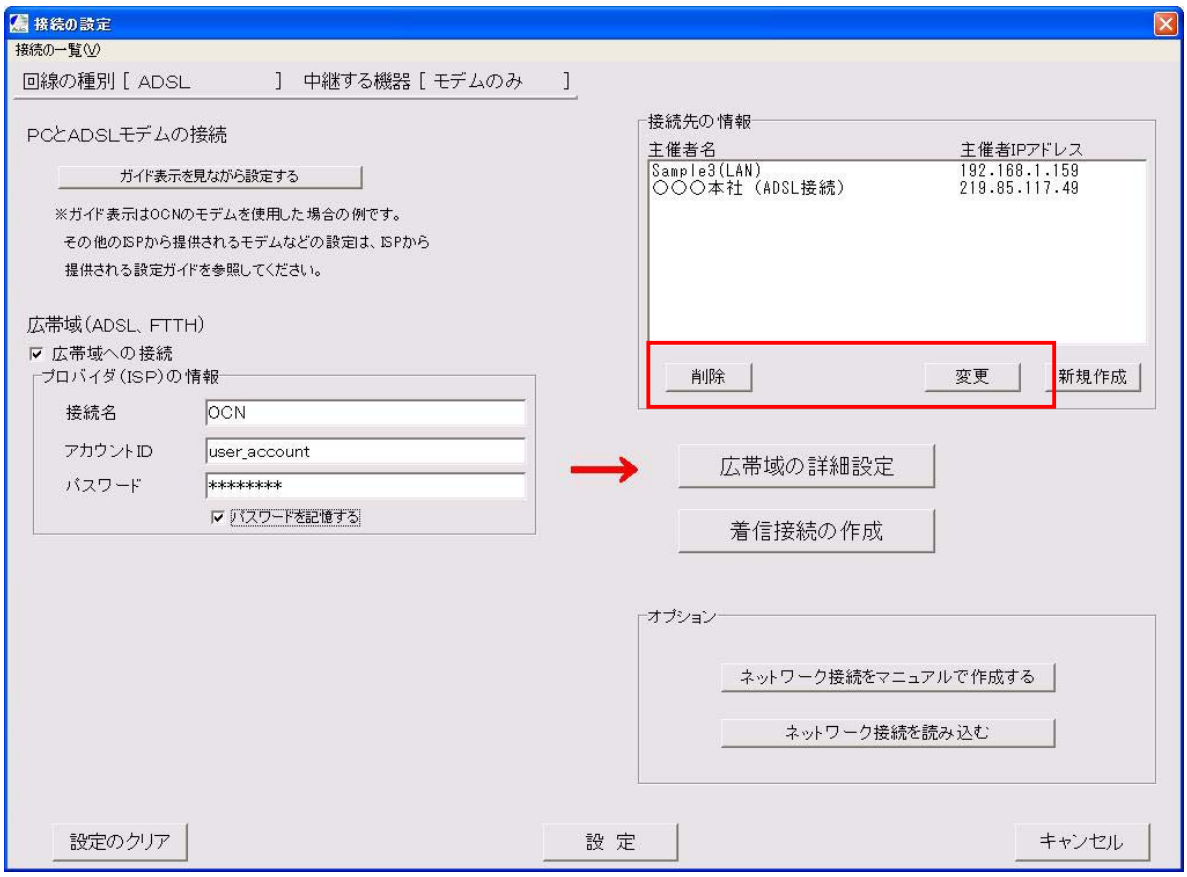


⑦ 接続先（=主催者）の名称を、わかり易いように入力します。設定する情報は、主催者の IP アドレスです。全ての情報を入力した後、「設定」ボタンをクリックしてください。

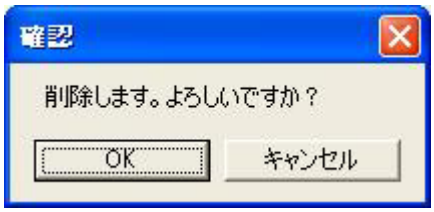
※　参加者から主催者に接続する際に、一時的に LAN の接続と同じ方法で通信が行われますが、その後、主催者から参加者に VPN の接続が確立されます。会議中のデータは VPN 接続の中で送受信されるため暗号化された情報は第三者から保護されます。

※ “ 接続先の情報 ” に表示される接続先の内容は、現在の設定方法（この場合、ADSL 接続で中継機器がなし）を使用する場合の “ 接続先 ” のみが設定されます。他の接続方法（例えば ‘ LAN ’ ）で “ 接続 ” する場合の “ 接続先の情報 ” については、別途その “ 接続の設定 ” 画面で設定する必要があります。

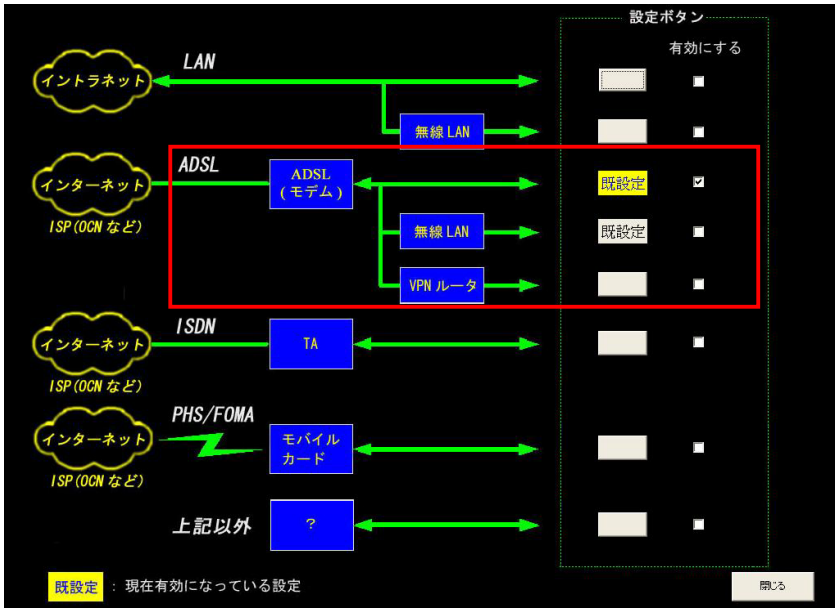
⑧ 既に作成されている”接続先の情報”を修正するには、画面の右側に表示されている接続先の一覧から変更したい一つを選択し、「変更」ボタンをクリックします。先の「新規作成」時のウィンドウと同じものが表示されます。変更したい情報で上書きしてください。
また、既に設定した接続先情報を削除したい場合には、削除したい行を選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。



「削除」ボタンをクリックすると、下記の確認ダイアログが表示されますので、削除してもいい場合は「OK」ボタンをクリックします。削除を取りやめる場合は「キャンセル」をクリックしてください。



⑨ ADSL のモデムに無線 LAN を介在している場合は、上記の③にて ADSL（モデム）右下の”無線 LAN”右のボタンをクリックします。



以降の操作は ADSL（モデムのみ）と同様ですが、無線 LAN アダプタの設定については、お使いのアダプタと無線 LAN のアクセスポイント設定に関する操作ガイドをご参照になり、設定をしてください。

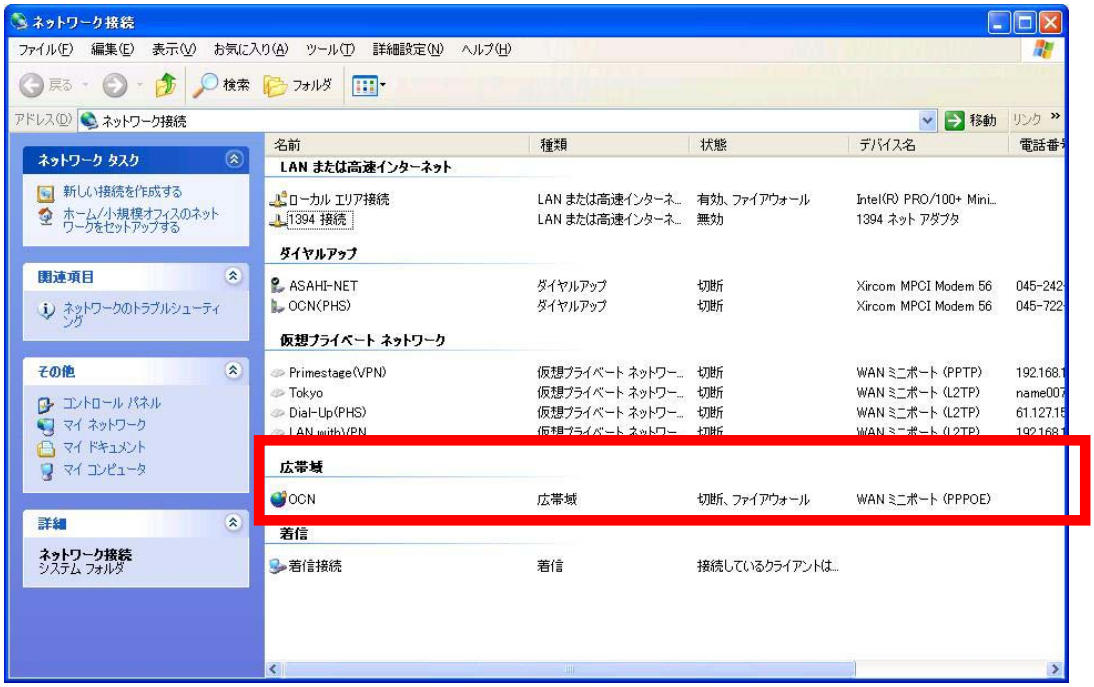
⑩ ADSL の接続に VPN ルータを介在している場合は、”LAN”の接続設定方法と同様になりますので、以降の”LAN”で接続の場合を参照ください。VPN ルータを使用して会議を行う場合、全ての拠点にて VPN ルータを使用することが前提になります。また、VPN 接続時のローカル IP アドレスは全拠点にて重複しないように設定してください。詳しくは、VPN ルータを設置する接続業者もしくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

⑪ 設定した接続方法を使用して、会議の主催者もしくは参加者として会議を行いたい場合、設定ボタンの右側にあるチェックボックス（□）をクリックして、この設定を有効にしてください。有効になっている設定ボタンは背景が黄色で表示されます。これにより、次回メイン画面から「接続」もしくは「待機」のボタンをクリックしたときに、有効になっている接続設定内容に従って ISP 接続（ADSL、ダイアルアップなど）、LAN 接続のいずれかを行います。

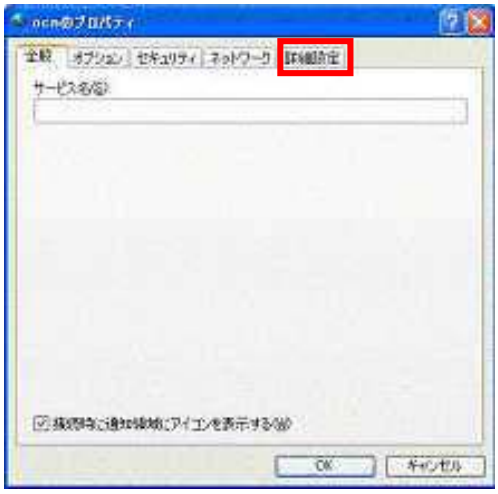
⑫ 上記アプリケーションにて設定したのみでは、ISP 接続時のファイアーウォール設定がされていない状態です。セキュリティを高めるためにさらに以下の設定を必ず行って下さい。

※この設定は、WindowsXP の場合に限定されます。Windows2000 でセキュリティを設定するにはご使用になられている接続ツール（PPPoE 接続のためのツール）に依存します。詳細は、ご契約の ISP にお問い合わせください。

⑬ 新しく追加した「広帯域」アイコン（例：ocn）が表示されていますので、そのアイコンを選択後、「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックします。



⑭ プロパティ画面が表示されるので、「詳細設定」タブをクリックします。

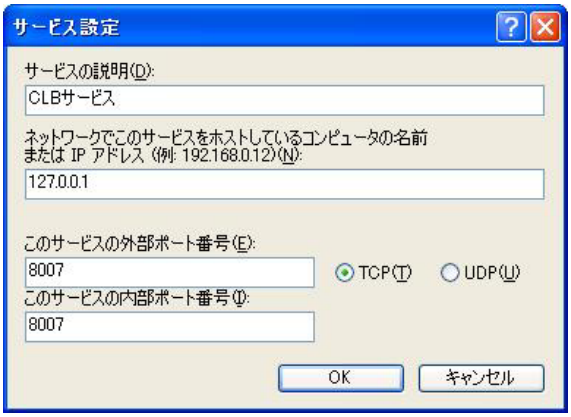


⑮ 「インターネット接続ファイアウォール」欄の「インターネットからのこのコンピュータへの・・・を保護する」のチェック後、右下欄にある「設定」ボタンをクリックします。

⑯ 「着信接続 VPN(PPTP)」をチェックしてください。（「着信接続 VPN(PPTP)」チェックボックスのチェックがされていないと VPN 接続ができませんので必ずチェックを入れてください。）

⑰ CollaboUSB の通信に必要なサービスポートを通過させるため、「追加」ボタンをクリックします。

⑱ 以下の画面にて、下図の内容で入力してください。



入力は以下の通りいれてください。

- ｻｰﾋﾞｽの説明
  CLB ｻｰﾋﾞｽ
- ﾎｽﾄｺﾝﾋﾟｭｰﾀの名前又は IP ｱﾄﾞﾚｽ
  127.0.0.1
  （CollaboMate 内部のﾙｰﾌﾟﾊﾞｯｸｱﾄﾞﾚｽ）
- このｻｰﾋﾞｽの外部ﾎﾟｰﾄ番号
  8007
- このｻｰﾋﾞｽの内部ﾎﾟｰﾄ番号
  8007

⑲ サービスの一覧にて、”□CLB サービス”にチェックを入れます。

⑳ 「着信接続 VPN(PPTP)」をクリックし選択した後、「編集」ボタンをクリックします。

㉑ 「ネットワークでこのサービスをしているコンピュータの名前または IP アドレス」欄に”127.0.0.1”を入力します。

入力は以下の通りいれてください。

- ﾎｽﾄｺﾝﾋﾟｭｰﾀの名前又は IP ｱﾄﾞﾚｽ
  127.0.0.1
  （CollaboMate 内部のﾙｰﾌﾟﾊﾞｯｸｱﾄﾞﾚｽ）
- このｻｰﾋﾞｽの外部ﾎﾟｰﾄ番号
  1723
- このｻｰﾋﾞｽの内部ﾎﾟｰﾄ番号
  1723

㉒ 詳細設定画面にて「セキュリティのログ」タブをクリックし、ログのオプション欄にて、「ドロップされたパケットのログをとる」と「成功した接続のログをとる」の二つのチェックボックスをチェックします。ログファイルのオプション欄では、ファイル名とサイズ制限ともデフォルトの「C:¥WINDOWS¥pfirewall.log」と「4096」KB であることを確認してください。

㉓ 詳細設定画面にて「ICMP」タブをクリックし、いずれのチェックボックスにもチェックが入っていないことを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

㉔ プロパティの画面に戻ったら「OK」ボタンをクリックし、設定を完了させてください。

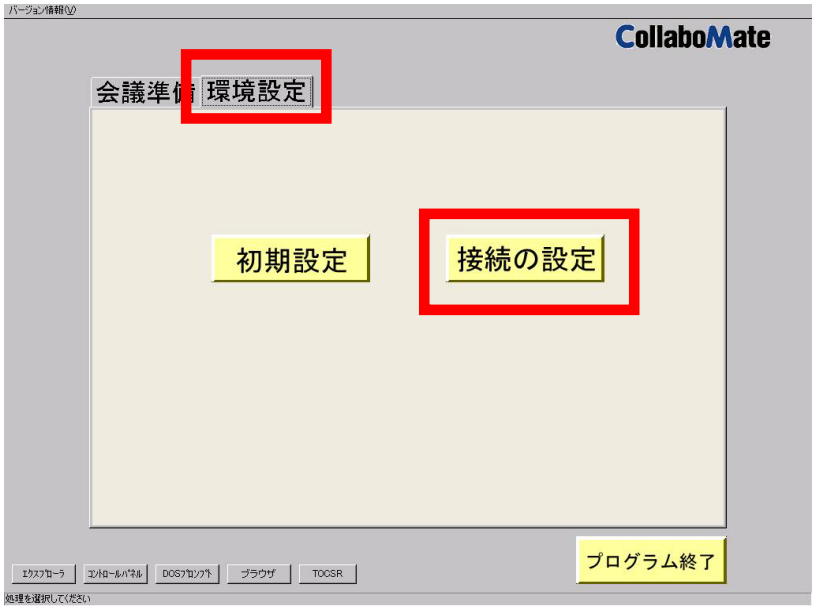
４．２．３ ＬＡＮを使用する場合の接続設定

※ ＬＡＮ接続を行う場合のＩＰアドレスは必ず固定ＩＰアドレスにしてください。（ＤＨＣＰサーバからのアドレス割付の設定にはしないでください。）またデフォルトゲートウェイの設定が必要になりますので、アドレスについてはお客様のネットワーク管理者にご相談ください。

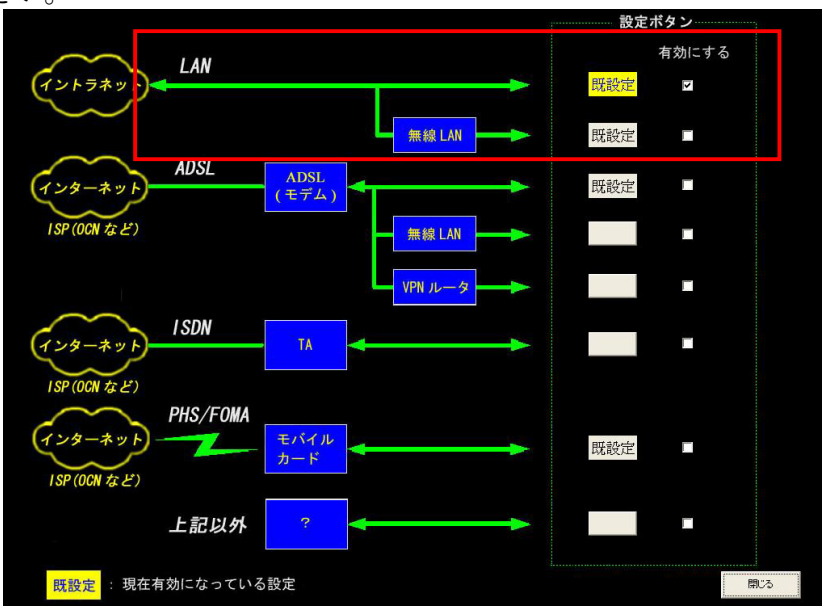
※ 本設定は管理者ユーザにて行ってください。

※ LAN 接続で接続先の設定時、”□LAN 接続で VPN を使用する”にチェックを入れた場合は１：１の会議に制限されますのでご注意ください。

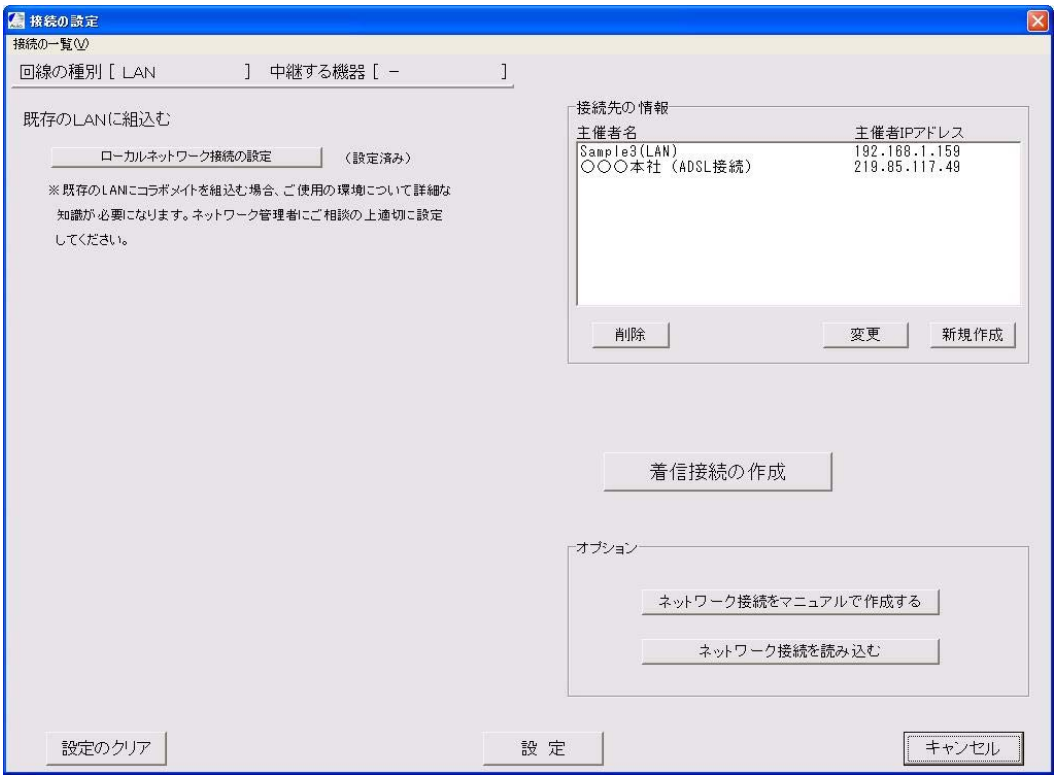
① メイン画面の「環境設定」タブを選択し、「接続の設定」ボタンをクリックします。



② LAN に直接接続する場合は、接続図の LAN 直結されたボタンをクリックしてください。LAN との間に無線 LAN を使用する場合は、2 段目の”無線 LAN”右側の設定ボタンをクリックしてください。



③ LAN で接続する場合の設定内容は、CollaboUSB における”ローカルネットワーク接続”の設定のみになります。ご利用になる LAN の環境に応じて設定してください。無線 LAN を仲介する場合は、無線 LAN アダプタ、無線 LAN アクセスポイントなどご利用になる機器の説明書をご参照の上設定してください。



④ ご利用になる LAN においてファイアーウォールの設定がされている場合、会議に必要なデータの送受信ができない場合があります。詳しくは、お求めになられた販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

⑤ 設定した接続方法を使用して、会議の主催者もしくは参加者として会議を行いたい場合、②の画面における、設定ボタンの右側にあるチェックボックス（□）をクリックして、この設定を有効にしてください。有効になっている設定ボタンは背景が黄色で表示されます。これにより、次回メイン画面から「接続」もしくは「待機」のボタンをクリックしたときに、有効になっている接続設定内容に従って ISP 接続（ADSL、ダイアルアップなど）、LAN 接続のいずれかを行います。接続先（主催者側）の設定を新規に行う場合は、「新規」ボタンをクリックし、下図のように“主催者の名称”、“主催者の IP アドレス”を入力してください。会議中のデータを LAN の中であっても保護（隠蔽）したい場合、“□LAN 接続で VPN を使用する”をチェックしてください（ただしこのチェックが入りますと、接続先（主催者側）が CollaboUSB である場合には１：１の会議に制限されますのでご注意ください）。

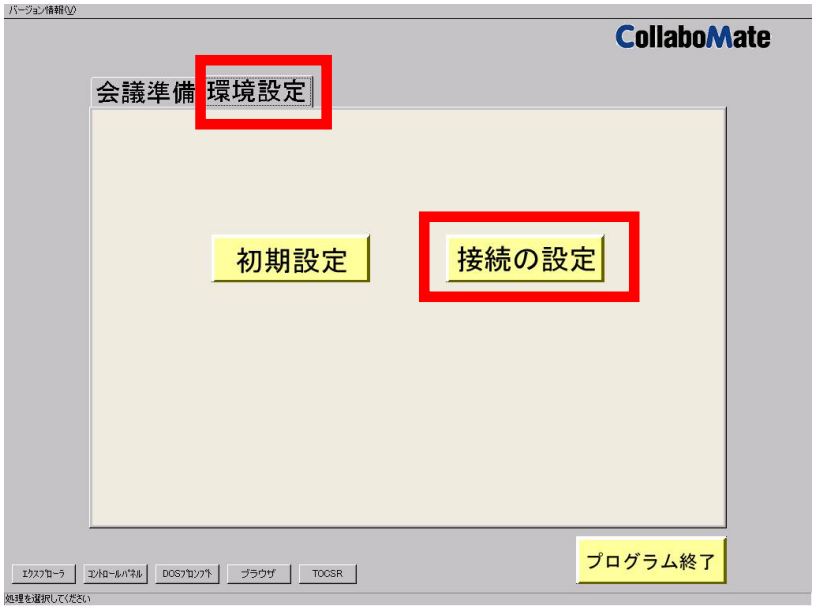
４．２．４ ISDN、PHS、FOMA などのダイアルアップを使用する場合の接続設定

[注意！]本設定は、LAN に接続された PC に PHS などのモバイルを使用した状態で行いますと、自動的にゲートウェイ接続された PC 間で”直接”の接続を作成してしまい、インターネットを介した通信ができなくなります。設定は必ず LAN から切り離した状態で PHS などのモバイル機器を装着して行ってください。

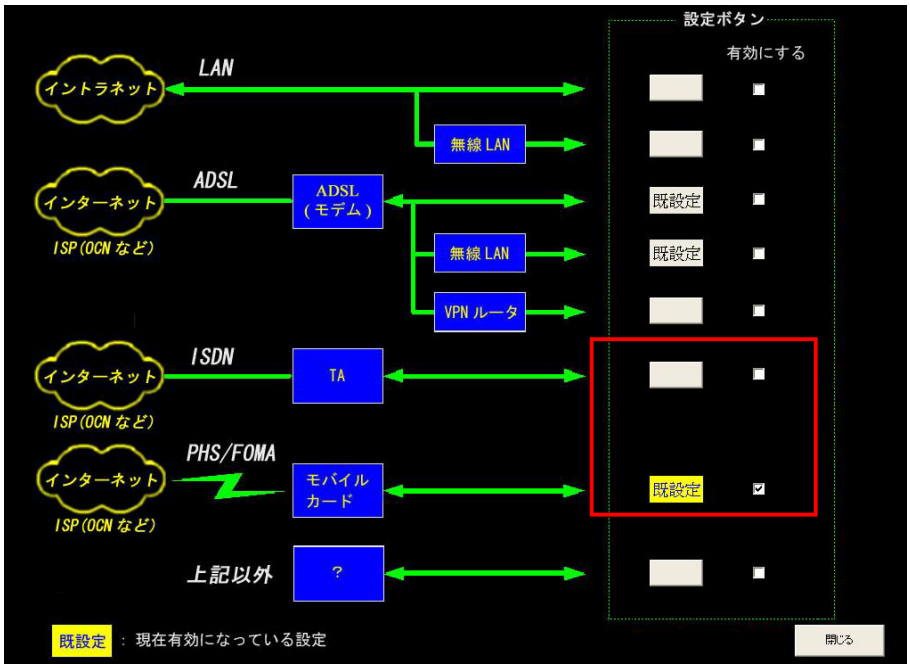
※ 本設定は管理者ユーザにて行ってください。

※ ISDN/PHS などのダイアルアップ接続でご利用の場合、CollaboUSB を「待機」側で使用すると、１：１の遠隔会議のみに制限されます。１：２もしくは１：３の遠隔会議を行う場合、必ず「待機」側に CollaboUSB 以外の CollaboMate 製品をご利用ください。

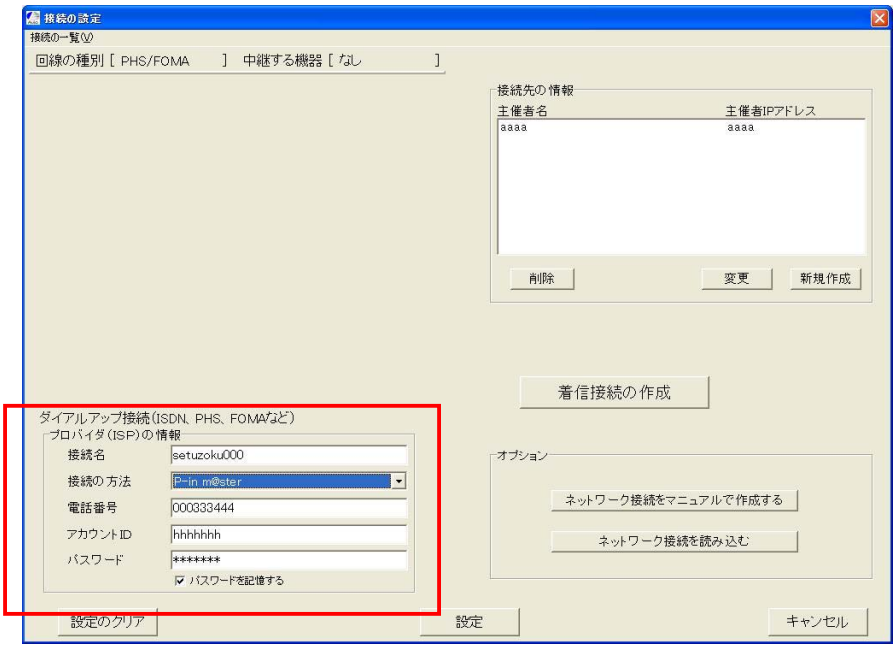
① メイン画面の「環境設定」タブを選択し、「接続の設定」ボタンをクリックします。



② ISDN、PHS、FOMA の設定についてはいずれも ISP のアクセスポイントにダイアルアップしてインターネットに接続します。ここでの説明は PHS/FOMA の右側にある設定ボタンをクリックした場合について説明します。



③ 接続の設定画面は以下のように、ダイアルアップについての情報入力を行うフィールドが左下側に表示されます。ここに接続名として分かり易い名称を入力し、ご利用の ISP から入手している設定情報に従い、アクセスポイントの電話番号、アカウント情報（アカウント ID、パスワード）を入力してください。また、ダイアルアップ接続時に使用するモデム（あるいは PHS／FOMA などのモバイル機器）を“接続の方法”項目にて選択してください。ISDN の場合の TA、PHS/FOMA のドライバ設定については、ご利用の機器に関する接続ガイドなどをご参照の上、あらかじめ設定してください。



※ ご使用の機器に複数のモデム（内臓のモデムと PHS など）を併用している場合、必ず“接続の方法”にて、あらかじめご使用になるモデムを一つのみに設定した上で CollaboUSB をご使用ください。上記の設定を行った後に OS の設定（ネットワーク接続）でダイアルアップ接続の内容を変更してしまいますとダイアルアップの情報が失われ、正常に遠隔会議を行うことができなくなりますのでご注意ください。（設定情報の変更は CollaboUSB にて行ってください。）

※ ”□パスワードを記憶する”にチェックをしている場合は、入力した”アカウント ID”、”パスワード”を使用して”待機”あるいは”接続”を行います。

※ ”□パスワードを記憶する”にチェックされていない場合で、”アカウント ID”と”パスワード”を省略した場合、あるいは”パスワード”のみを省略した場合は接続あるいは待機の度にアカウント ID やパスワードの入力を促すダイアログが表示されます。ただし、”□パスワードを記憶する”にチェックをした場合は、たとえ”アカウント ID”、”パスワード”が空欄であってもそのままの情報で ISP にアクセスしますのでご注意ください。（NTT ドコモの”mopera”をご利用の場合は”アカウント ID”、”パスワード”ともに空欄で、”□パスワードを記憶する”にチェックしてください。）

※ 電話番号を省略して設定することはできません。また、”アカウント ID”を省略して”パスワード”のみ入力した場合も設定することができませんのでご注意ください。

④ 上記アプリケーションにて設定したのみでは、ISP 接続時のファイアーウォール設定がされていない状態です。セキュリティを高めるために、４．１．２　ADSL を使用する場合の接続設定　の⑬以降の手順で設定した内容と同様に、”ダイアルアップ”の接続についてもセキュリティの設定を必ず行って下さい。

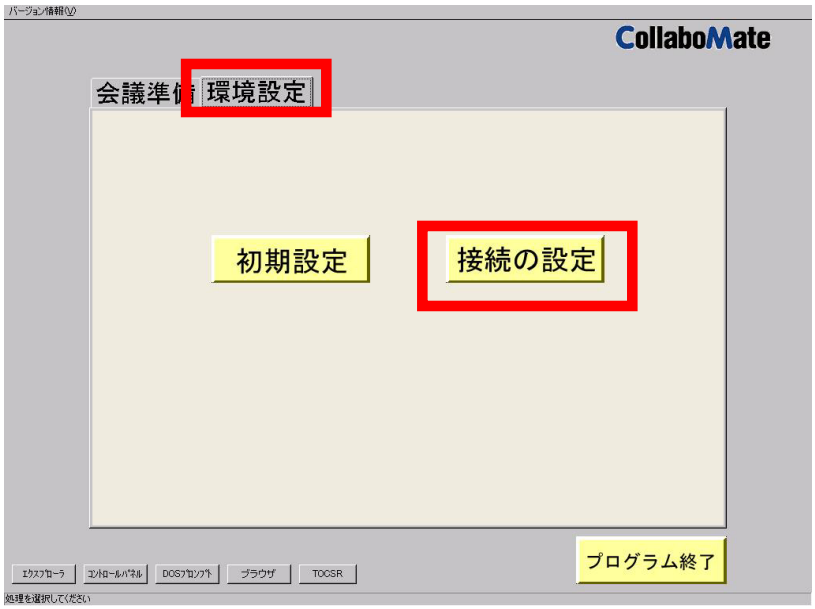
⑤ 設定した接続方法を使用して、会議の主催者もしくは参加者として会議を行いたい場合、②の画面における、設定ボタンの右側にあるチェックボックス（□）をクリックして、この設定を有効にしてください。有効になっている設定ボタンは背景が黄色で表示されます。これにより、次回メイン画面から「接続」もしくは「待機」のボタンをクリックしたときに、有効になっている接続設定内容に従って ISP 接続（ADSL、ダイアルアップなど）、LAN 接続のいずれかを行います。接続先（主催者側）の設定を新規に行う場合は、「新規」ボタンをクリックし、下図のように“主催者の名称”、“主催者の IP アドレス”を入力してください。

４．２．５ 特殊な場合の接続設定

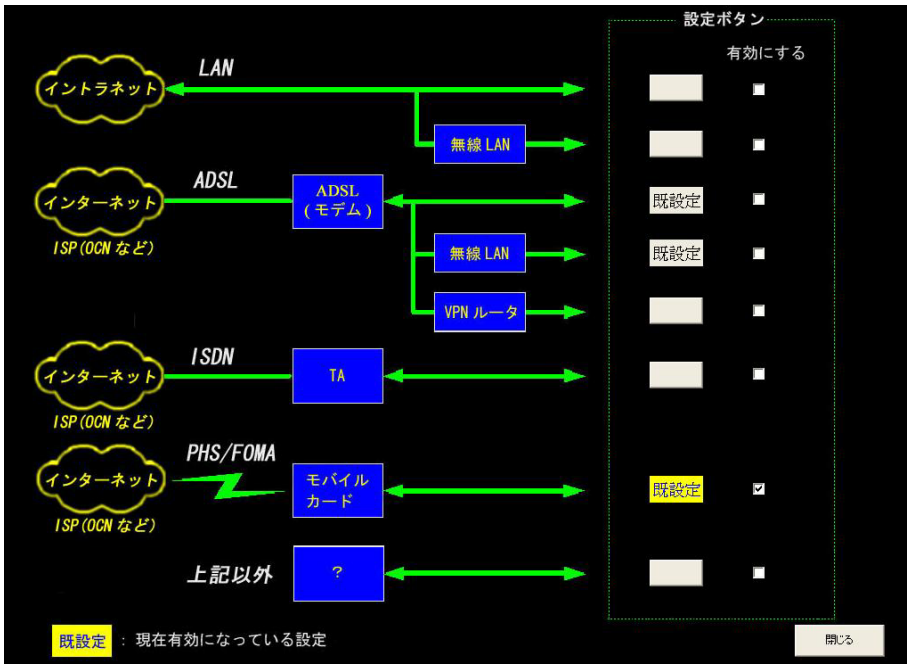
前述の 4.1.2～4.1.4 においては、一般的な 1:3 接続における接続設定方法を記述しましたが、以下に、1:1 で直接相手の PC（PC に接続するモバイル機器(PHS,FOMA など)に接続する場合の設定手順を記述します。

※　**本設定は管理者ユーザにて行ってください。**

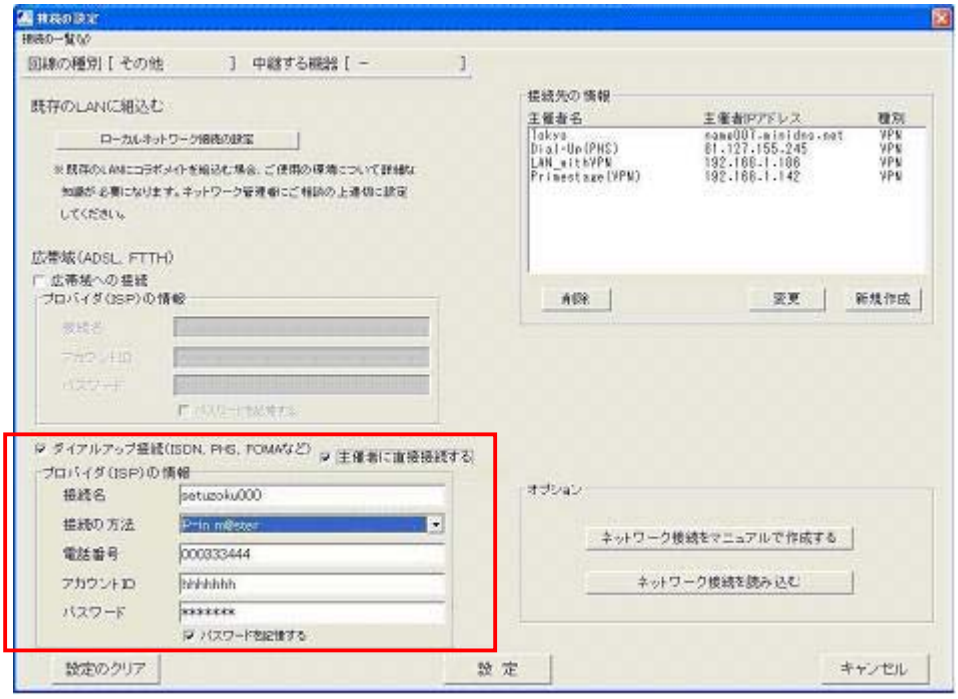
① メイン画面の「環境設定」タブを選択し、「接続の設定」ボタンをクリックします。



② 下記の接続分類画面にて、”上記以外”の右側に表示されている設定ボタンをクリックします。

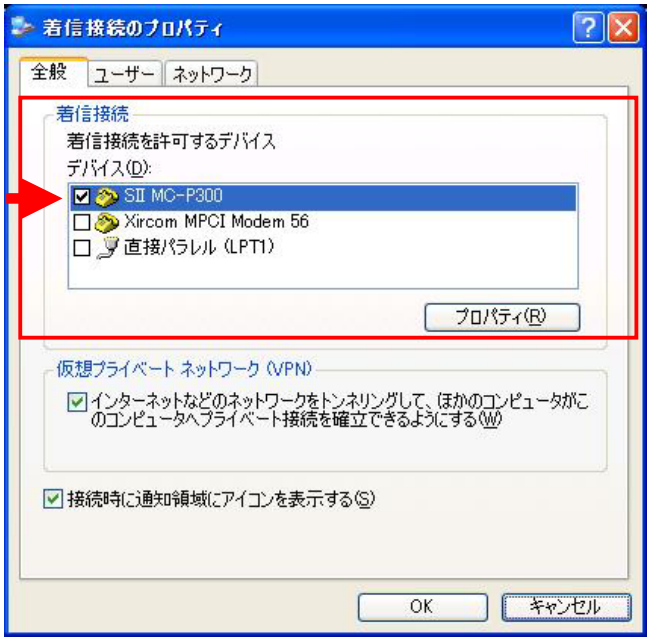


③ “上記以外”の接続分類で設定できるのは、LAN、広帯域、ダイアルアップの全てのケースですが、ここでの接続例では 1:1 で直接モバイル機器同士の接続のため、“ ダイアルアップ ”の設定のみ行います。



ここで、電話番号としては、接続先モバイル機器の持つ固有の電話番号です。また、”□主催者に直接接続する”にチェックを入れます。“ 接続の方法 “ は、ダイアルアップ接続時に使用するモデムを選択します。複数のモデム（あるいは PHS／FOMA などのモバイル機器）が接続されている場合、その中の 1 つを選択してください。アカウント ID、パスワードに入力する内容は、接続先が着信接続を受け入れるために必要なアカウントです。

④ 主催者側の設定としては、着信接続にて、モデムに対する着信を受け付ける必要がありますので、コントロールパネル→ネットワーク接続　にて”着信接続”のプロパティで、着信を受け付けるモデム（あるいは PHS／FOMA などのモバイル機器）を選択しておいてください。



⑤ 設定した接続方法を使用して、会議の主催者もしくは参加者として会議を行いたい場合、②の画面における、設定ボタンの右側にあるチェックボックス（□）をクリックして、この設定を有効にしてください。有効になっている設定ボタンは背景が黄色で表示されます。これにより、次回メイン画面から「接続」もしくは「待機」のボタンをクリックしたときに、有効になっている接続設定内容に従って ISP 接続（ADSL、ダイアルアップなど）、LAN 接続のいずれかを行います。

5．保証と修理サービス

5．1 保証について

- 製品の保証書と保証規定をよくお読みください。
- 製品の保証書は、必ず「お買い上げ日」・「販売店名」など所定事項の記入をお確かめのうえ大切に保管してください。

5．2 保証期間について

- 保証期間はお買いあげいただいた日から１年間です。
- 保証期間内であっても保証書を提示していただけない場合などで有償修理になることがありますので、保証書の「保証規定」をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理につきましてはお買い上げいただいた販売店・拠点にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は有償にて修理いたします。
- 各種保守サービスが準備されています。保守サービスについては、お買い上げいただいた販売店・拠点にお問い合わせください。ご購入時でのご検討を推奨させていただいています。

5．3 修理サービスについて

- 修理を依頼される際には所定事項が記入された保証書を修理品に添付してください。
  合わせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

5．4 ソフトウェアのバージョンアップ

日本アビオニクスのホームページ内、製品サポート情報ページにソフトウェアのバージョンアップファイルが提供されています。お客様の CollaboUSB のソフトのバージョンより新しいバージョンのアップデートファイルがあった場合にはダウンロードして、インストールし、CollaboUSB を最新版に更新してください。また、最新版の取扱説明書もホームページからダウンロードできます。

IP 多地点会議システム CollaboMate サポート情報ページ
http://www.avio.co.jp/support/collabomate/index.htm

日本アビオニクス株式会社

お問い合わせ先
電子装置　　〒253-0103　神奈川県高座郡寒川町小谷 2-1-1
事業部　　℡ 0467-73-4414
ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ

電子装置　　〒105-0003　東京都港区西新橋 3-20-1
営業本部　　℡ 03-5401-7388
ｺﾗﾎﾞﾒｲﾄ営業部

名古屋支店　　〒460-0003　名古屋市中区錦 3-7-9　太陽生命名古屋第２ビル
℡ 052-951-2926（代表）

大阪支店　　〒532-0011　大阪市淀川区西中島 1-11-16　住友商事淀川ビル
℡ 06-6304-7361（代表）

福岡支店　　〒812-0012　福岡市博多区博多駅中央街 8-36　博多ビル
℡ 092-411-7371（代表）

6009130-R01B @3.0